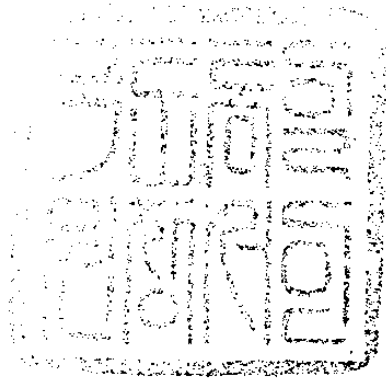


3867

# 共產圈 主要動向 分析

1975. 12

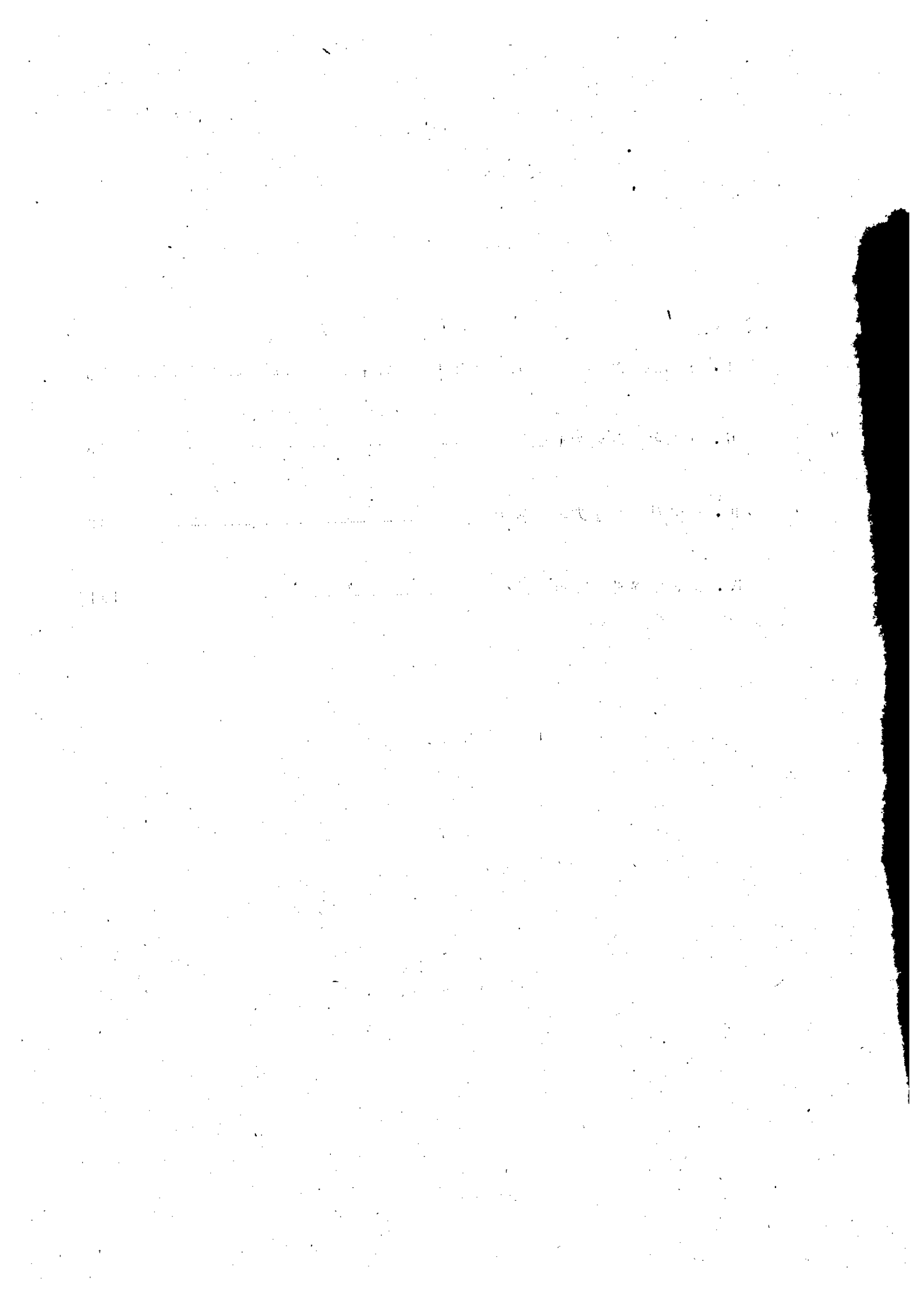


2) 평산권동향  
 중국대항반동정세  
 중국권사태  
 부하

國 土 統 一 院

## 總 目 次

I. 東南亞 諸國의 中共「러시」와 韓半島 .....	3
II. 中共의 對韓半島政策 .....	23
III. 中共의 軍事力과 韓半島 .....	43
IV. 第3世界에 關한 分析 .....	101



I . 東南亞諸國의 中共「러시」와 韓半島

# 目 次

1. 問題의 提起	7
2. 東南亞와 強大國	8
가. 美 國	8
나. 蘇 聯	9
다. 中 共	10
라. 日 本	11
3. 東南亞의 現況	12
가. 一般事項	12
나. 印度支那	14
다. 其他 東南亞	14
4. 필리핀·태국의 중공 수교	15
가. 배경	15
나. 필리핀·중공 수교	17
다. 태국·중공 수교	17
라. 分 析	18
5. 東南亞의 向方	19
가. 強大國의 立場	19
나. 最近 動向	20
다. 展 望	21
6. 影響判斷	22
가. 韓國에의 影響	22
나. 對 策	22

## 1. 問題의 提起

1. 印支事態로 東南亞에 대해 共產主義 威脅急増
2. 美國의 公約에 대한 會議
3. 東南亞諸國의 對共產圈 接近試圖
4. 東南亞 情勢의 不安
5. 強大國들의 틈에서 實利追求
6. 東南亞의 中立化論 抬頭

1. 東南亞에 대해 強大國의 關心·急増
2. 東南亞 諸國에 中共影響力 增大
3. 東南亞에 對한 越盟의 地位 強化
4. 필리핀과 泰國은 中共과 修交
5. 南北越南 同時 유엔加入 申請

1. 東南亞와 韓國에 中共의 影響力 增大
2. 東南亞 事態는 韓國에 影響 甚大
3. 東南亞 向方과 韓半島의 影響要素 導出
4. 韓國의 方向設定에 寄与

## 2. 東南亞에 對한 強大國의 立場

### 가. 美 國

#### 1) 政策基調

- 가) 아시아는 유럽에 從屬的 地位
- 나) 日本을 아시아의 前進基地로 看倣
- 다) 中共과의 和解
- 라) 필리핀을 太平洋의 根拠地로 看倣

#### 2) 美·中 和解

- 가) 上海共同聲明 ( 72.2.27 )
  - (1) 民族自決主義 尊重
  - (2) 印支의 第2 발칸化 希望
  - (3) 美·中 和解는 印支에 對한 美國의 關心을 淺駕
  - (4) 美國의 漸進的 退陣, 拠点防衛의 戰略 追求

#### 3) 現 況

- 가) 越盟, 越南, 캄보디아, 라오스와는 小康狀態
- 나) 東南亞諸國과는 ASEAN을 통한 關係維持
- 다) 필리핀, 泰國에 軍事基地 維持
- 라) 東南亞諸國은 美國依存政策 脫皮 推勢
- 마) 美國은 政治, 軍事的 關係보다 經濟外交的 關係에 置重

나. 蘇 聯

1) 政策基調

가) 아시아集團 安保論에 吸收 試圖

나) 中共南下政策 沮止, 包圍試圖

다) 美國의 退陣後 太平洋地域 霸權試圖

2) 現 況

가) 印度洋에 影響力 增大

(1) 1968. 蘇聯艦隊 印度洋 進出

(2) 1971. 印·蘇條約 締結

(3) 1971. 방글라데쉬의 獨立支援

(4) 1973. 印度核實驗 支援

(5) 1973. 印·蘇 15年 經濟協力條約 締結

나) ASEAN 諸國과 修交

(1) 말레이시아 (67), 싱가포르 (68)

(2) 필리핀과는 修交 準備中

다) 코펜하겐 → 모스크바 → 탄슈켄트 → 쿠알라룸뭉 → 싱가포르

→ 자칼 타항로 就航<sup>7)</sup>

라) 長期間 越南戰爭 支援

마) 아시아集團安保論에 東南亞諸國 消極的



다. 中 共

1) 政策基調

가) 霸權主義 反對, 第3世界 團結

나) 民族解放運動의 支援

(1) 國家外交, 人民外交, 同志外交 驅使

다) 辺境 弱小國의 隸屬化 試圖

(1) 中·蘇는 東南亞의 共產化를 원하나 競爭的 關係

라) 華僑의 包摂活用

(1) 華僑는 革命의 輸出의 前衛隊

(2) 中共에 온 華僑留學生 優待

(3) 博覽會를 통한 中共宣傳

(4) 華僑의 經濟活動支援

2) 現 況

가) 美國의 退陣, 蘇聯의 進出로 革命輸出의 潛在化, 現政權과의 關係改善 不可避

泰國, 라오스, 말레이지아, 共產黨에 秘密放送 場所 提供, 訓練

나) 東南亞諸國의 團結 不願

○ 南北越南 同時 유엔加入 默認 予想

다) 美國과 安保面에 協調

라) 蘇聯의 進出 牽制, 아시아集團安保論 反對

마) 日本과 經濟面에서 和解

바) 日·蘇關係 弱화 誘導

사) 同志外交 통한 게릴라 支援

라. 日 本

1) 政策基調

가) 經濟外交에 一 置重

(1) 資源外交, 市場外交

(2) 資源輸送路 確保

나) 中·蘇競爭 틈바구니에서 美國을 活用 影響力 增大

다) 印支의 戰後復旧 參與

2) 現 況

가) 直接投資의 急增

(1) 73年 對亞民間投資 9億4千5百萬弗<sup>14)</sup> (全體의 50.6%)

(2) 73年 對亞投資 23億9千1萬弗

(3) 73年과 74年의 投資比率<sup>15)</sup>

國 家	比 率	備 考
말레이시아	3.6 배	韓國, 인도네시아에서 美國을 圧倒
필리핀	3 배	
인도네시아	2.5 배	
싱가폴	1.6 배	
韓國	1.2 배	

나) 東南亞經濟進出을 위해 中共과 協商

다) 東南亞諸國의 反日感情은 日本의 影響力 增大에 惡影響

라) 東南亞에 對한 經濟進出에 美·中共과의 協力으로 霸權 予想

### 3. 東南亞의 現況

#### 가. 一般事項

- 1) 汎아시아主義의 版圖
- 2) 東南亞의 結束은 至難
  - ㉞ 多樣한 宗教
    - 仏教 : 泰國, 印支
    - 回教 : 파키스탄, 印尼, 말레
  - ㉟ 多樣한 言語
- 3) 複雜한 歷史的 背景
  - 英·仏·日·美의 植民地
  - 外勢에 대한 嫌惡
- 4) 많은 華僑의 居住
  - \* 東南亞 華僑 分布 現況

國名	華僑數	全体人口 對 比率(%)
泰 國	380 만	18.2 %
越 南	150 만	8.2 %
크 메 르	40 만	5.7 %
라 오 스	10 만	3.0 %
버 마	50 만	1.8 %
싱 가 폴	160 만	75 %
말 레 이 지 아	370 만	35 %
比 律 賓	23 만	0.6 %
인 도 네 시 아	350 만	2.8 %

\* 資料 : 華僑現況分析, 中央情報部 1973.9.4.

5) 弱体政權

가) 經濟의 後進性으로 相互連帶性 稀薄

나) 共產主義의 威脅으로 政治, 社會의 不安

6) 中立路線 追求

가) 民族主義的 독자路線으로 團結 至難

나) 強大國의 保障 必要



1) 中共勢의 增大

2) 越盟의 影響力 高潮

3) 共產계릴러 운동

4) SEA • ASEAN의 退潮

5) 中 • 蘇의 競争熾烈 予想

6) 日本의 經濟的 影響力 急增<sup>19)</sup>

7) 美國의 漸進的 退陣

8) 4強斗의 等距離外交 指向 必要

#### 나. 印度支那

- 1) 越盟은 戰後復旧에 西歐 및 美·日 資本導入 必要
- 2) 南北越南의 統一成就 難航
- 3) 中·蘇에 對한 等距離外交 緊要
- 4) 발칸化 傾向 希望 (強大國의 底意)
- 5) 越盟은 現實的으로 東南亞의 共產運動支援 困難
- 6) 南北越南의 유엔同時加入 申請은 統一을 遲延

#### 다. 東南亞

- 1) 對美依存度 弱화
- 2) 東南亞의 團結 및 經濟協助機構 設立 推進
- 3) 中立路線 追求로 非同盟 路線 指向 予想
- 4) 政治的으로 中共勢 強化, 經濟的으로 日本 影響力 增大 予想
- 5) 對中·蘇關係 調節의 必要性 緊迫
- 6) 4強의 等距離外交 實利追求 予想

#### 4. 필리핀·泰國의 中共修交

##### 가. 背 景

##### 1) 印支事態

##### 가) 東南亞에 對한 共產危脅 急增

- (1) 泰 國 :
  - B352 基地 提供으로 越盟 反感
  - 라오스 舊領土 返還要求 ( 북부 16 개성 )
  - 8,000 명의 게릴라 준동
  - 300 만 華僑問題 ( 全体人口의 13% )
- (2) 필리핀 :
  - 親毛派 2,000 名
  - 回教徒 350 萬
  - 華 僑 50 萬

##### 나) 美國의 防衛公約에 疑懼

- (1) 마야구즈호 救出에 泰國基地 使用 合意  
( 泰國 75.5.14 )
- (2) 美空軍基地 返還要求 ( 泰 國 )
  - \* 27,500 名의 美軍駐屯
- (3) NATO식 防衛條約 要求 ( 필리핀 )
- (4) 수백만 海軍基地 크라크空軍基地 返還要求 ( 필리핀 )
  - \* 18,000 名의 美軍 駐屯

다) 中·蘇와의 和解로 共産危脅 中和

(1) 戰後復旧로 越盟은 게릴라 支援 困難

(2) 過渡期를 活用 中·蘇와의 修交로 安全 圖謀

라) ASEAN의 中立化 및 結束強化

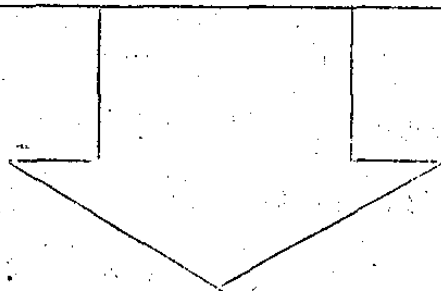
(1) 말레이시아 : 1975.5월 中共과 修交

(2) 싱가포르 : 國民의 75%가 中國人으로 第3 中立化  
方向으로 中國과 修交 考慮

(3) 인도네시아 : 65年 中共使曠로 共産쿠데타를 겪어 中共  
修交 冷淡

(4) 필리핀 : 中共修交 ( 1975.6.9 )

(5) 태국 : 中共修交 ( 1975.7.1 )



4 強과의 等距離外交로 實利追求

나. 필리핀 • 中共修交

- 1) 필리핀 貿易使節團 中共訪問 ( 71.5 )
- 2) 이벨다女史 中共訪問 ( 74.9.13 )
- 3) 比 • 中共貿易協定 締結 ( 74.6 )
- 4) 周恩来 • 마르코스 共同聲明 發表 ( 北京 75.6.9 )
  - 가) 相互不可侵
  - 나) 主權, 領土의 尊重
  - 다) 霸權主義 反對
  - 라) 中共은 中國의 唯一合法政權
  - 마) 貿易協定

다. 泰國 • 中國 修交

- 1) 中共 泰國에 原油販賣, 契約 ( 1974. )
- 2) 泰國議員團 中共 派遣 ( 75.6.28 )
- 3) 周恩来, 쿠크리트 共同聲明發表 ( 北京 75.7.1 )
  - 가) 主權尊重
  - 나) 內政不干涉
  - 다) 相互不可侵
  - 라) 中共은 中國의 唯一合法政府
  - 마) 霸權主義 反對



## 라. 分 析

- 1) 共產國家와 軍事的 對決에서 轉換, 政治, 外交的 和解 試圖
- 2) 現實的인 共產威脅에 對処하는 自求策
- 3) 印度, 暹羅라테쉬를 基盤한 蘇聯의 東南亞 進出 牽制 (中共)
- 4) 越盟의 影響權 增大에 對備策
- 5) 아시아 共同市場 創設, ASEAN의 結束
- 6) 中立路線 標榜으로 強大國 틈에서 實利追求
- 7) 내내 政治, 經濟, 社會混亂의 打開策



- 現實的으로 中共의 對東南亞 共存은 不可避
- 中共의 政治的 影響力 增大, 日本의 經濟的 影響力 增大 予想

## 5. 東南亞의 向方

### 가. 強大國의 立場

- 1) 美國 : 가) 발칸식 中立主義 支援  
나) 經濟外交에 置重  
다) 相当期間 동안 軍事基地 維持
- 2) 蘇聯 : 가) 政治, 經濟, 外交, 軍事的 浸透 企圖  
나) 中共勢의 牽制 試圖  
다) 아시아集團安保構想 實現 試圖  
라) 印度 → 越南 → 台灣 → 日本을 잇는 中共 包圍 試圖
- 3) 日本 : 가) 經濟進出에 注力  
나) 日本資源 補給網의 安全企圖 ( 말라카 海峽 )  
다) 市場確保, 資源導入  
라) 中共, 日本 共同步調 試圖
- 4) 中共 : 가) 傳統的인 中國과의 關係 希望<sup>2)</sup>  
나) 蘇聯의 進出抑制 ( 앞문의 늑대보다 뒷문의 호랑이가 무섭다 )<sup>3)</sup>  
다) 華僑의 活用  
라) 게릴라 支援의 潛在化  
마) 現實的으로 國家外交에 置重 ( 鄧小平巡訪 予想 )

- 1) 蘇聯의 進出 牽制에 日·中共協力 予想
- 2) 中共에 政治的 影響力, 日本에 經濟的 影響力 增大 予想

#### 나. 最近動向

- 1) 아시안 5 個國 外相會議 ( 5.13 )
  - 가) 情勢安定과 弱極的인 中立化
  - 나) 南北베트남, 캄보디아와의 不可侵 友好條約 締結
- 2) 필리핀, 泰國, 頂上會談 ( 7.23 )
  - 가) 美國의 潛定的인 駐屯 希望
  - 나) 아시아 共同市場 ( ACM ) 創設 推進
  - 다) 東南亞 國家聯合 頂上會談 開催
- 3) 南北越南 유엔 同時加入 申請 ( 7.15, 16 )
  - 가) 政治, 社會, 文化的 統合의 困難
  - 나) 南北越南 指導者 間의 反目
  - 다) 戰後 復歸 위한 廣範한 支援 誘導
  - 라) 中·蘇의 角逐에 實利追求
  - 마) 두개의 代表權 戰略

다. 展 望

- 1) 中·蘇와의 關係正常化로 共產威脅을 中和
- 2) 4強과의 多邊的인 等距離外交 指向
- 3) 東南亞의 中立路線 標榜으로 實利追求
- 4) 理念을 超越한 實利外交 指向
- 5) SEATO · ASEAN体制의 弱화
- 6) 親中共勢 抬頭 予想

## 6. 影 響 判 断

### 가. 韓國에의 影響

- 1) 東南亞에 北傀와의 修交氣運高潮 (美國: 75.5.14)
- 2) 韓國의 東南亞 政治, 外交, 經濟進出 退潮 憂慮
- 3) 自主國防에 따른 外交路線의 支持勢力 弱화 憂慮
- 4) 南北越南 유엔同時加入 申請은 韓國에 鼓舞
  - (가) 南北越南 加入案과 韓國의 加入案 一括處理 追求予想  
( 1955.10 次總會 16 個國 加入 )
  - (나) 北傀의 单独加入 主張의 說得力 喪失

### 나. 對 策

- 1) 韓·美·日間의 外交 強化
  - 가) 2 個의 越南加入에 韓國加入 推進
  - 나) 東南亞 諸國과의 紐帶 強化
  - 다) 中·蘇 및 共産圈 外交 伸張
- 2) 第3 世界와의 外交 強化  
( 北傀의 유엔단일 代表權의 非現實性 啓蒙 )
- 3) 北方外交에 대한 東南亞方式의 受容에 融通性
- 4) 北傀의 유엔 單一代表權의 虛溝性 啓蒙 위한 弘報強化
- 5) 國民總和에 의한 自主國防의 早期 達成

## Ⅱ . 中共의 對韓半島政策

中央圖書館藏書

100.1

## 目 次

1. 問題的 提起 .....	27
2. 中共의 对隣接國觀 .....	28
3. 中共의 对韓半島觀 .....	31
4. 日・蘇・中共의 3角關係 .....	33
5. 金日成의 中共訪問 .....	37
6. 金日成의 对南戰略 .....	39



11 .....  
 12 .....  
 13 .....  
 14 .....  
 15 .....  
 16 .....  
 17 .....  
 18 .....  
 19 .....  
 20 .....  
 21 .....  
 22 .....  
 23 .....  
 24 .....  
 25 .....  
 26 .....  
 27 .....  
 28 .....  
 29 .....  
 30 .....  
 31 .....  
 32 .....  
 33 .....  
 34 .....  
 35 .....  
 36 .....  
 37 .....  
 38 .....  
 39 .....  
 40 .....  
 41 .....  
 42 .....  
 43 .....  
 44 .....  
 45 .....  
 46 .....  
 47 .....  
 48 .....  
 49 .....  
 50 .....  
 51 .....  
 52 .....  
 53 .....  
 54 .....  
 55 .....  
 56 .....  
 57 .....  
 58 .....  
 59 .....  
 60 .....  
 61 .....  
 62 .....  
 63 .....  
 64 .....  
 65 .....  
 66 .....  
 67 .....  
 68 .....  
 69 .....  
 70 .....  
 71 .....  
 72 .....  
 73 .....  
 74 .....  
 75 .....  
 76 .....  
 77 .....  
 78 .....  
 79 .....  
 80 .....  
 81 .....  
 82 .....  
 83 .....  
 84 .....  
 85 .....  
 86 .....  
 87 .....  
 88 .....  
 89 .....  
 90 .....  
 91 .....  
 92 .....  
 93 .....  
 94 .....  
 95 .....  
 96 .....  
 97 .....  
 98 .....  
 99 .....  
 100 .....

## 1. 問題의 提起

### 가. 印支事態

- 1) 크메르 降伏 ( 75.4.17 )
- 2) 越南의 共產化 ( 75.4.30 )
- 3) 蔣介石의 死亡 ( 75.4.5 )

### 나. 中共 러쉬

- 1) 周邊地域에 대한 中共의 影響力 增大
- 2) 美國의 對아시아 公約에 대해 會議
- 3) 東南亞에 대해 中·蘇競爭 ( 越南에 基地使用 要請 )
- 4) 東南亞 中立化論, 抬頭.
- 5) 東南亞諸國의 對中共 接近 活潑 ( 泰國, 필리핀 등 )
- 6) 共產主義의 現實的인 威脅을 政治, 外交的으로 中和 試圖

### 다. 韓半島 情勢

- 1) 印支의 共產化에 刺戟되어 金日成 中共 訪問
- 2) 強大國의 東北亞에 대한 關心 增大
- 3) 金日成은 巡訪外交로 戰爭路線과 平和路線 並行
- 4) 韓半島의 戰略的 重要性 增大
- 5) 金日成 對南 赤化企圖에 대한 中·蘇의 支援 企圖

## 2. 中共의 對隣接國觀

### 가. 理論的 背景

<p>1) 傳統的인 中國 W. Friedmann international toward politics New York columbia university press 1957. p.299</p>	<p>가) 周邊地域에 대해 척봉과 조공정책 固守 나) 中·蘇紛爭이 南派時 隣接國에 대한 中共의 影響力 急増</p>
<p>2) 毛沢東의 姿勢 Francis watson the frontier of China New York praeger 1966. p.179</p>	<p>가) 中國大陸에서 外勢를 追放 나) 國家의 近代化를 實現 다) 周邊國家에 대한 外勢의 干涉을 排除</p>
<p>3) 中共의 國境觀 Robert A Scalapina: communist Revolution of Asia Berkeley university of California Press 1971 p.258-66</p>	<p>가) 內徑 ( inner frontier ) 과 外徑 ( outer frontier ) 觀念을 堅持 나) 外徑地域을 中共의 影響圈으로 看做</p>
<p>4) 毛沢東 戰略의 影響</p>	<p>가) 아시아 共産黨은 組織上의 差異가 적어 中共의 모델을 배움 나) 經濟的 落後, 政治, 社會的 不安, 体制의 不安地域에 中共 모델 影響 다) 隣接國家에 대한 聖域化에 의한 戰略의 輸出 라) 北韓, 越盟, 바트콩, 파테트, 라오, 태국의 共産黨, 크메르 루즈, 버어마의 백기 등에 大 影響</p>

나. 美·中共 和解

1. 上海共同声明(1972.2.27)

가. 美國의 對 中共 封鎖政策의 廢棄

나. 中共의 周边國家에 對한 自決原則 強調

1) 印支問題

(가) 印支問題는 自決에 의해 解決되어야 함.

(나) 印支의 自決을 尊重하여 美軍을 撤收

(다) 原則적으로 印支의 拋棄를 意味

2) 台灣問題

(가) 美國은 하나의 中國을 認定

(나) 台灣은 中國의 一部

(다) 台灣問題는 中國内部問題이므로 中國人 自決에 의해 處理

3) 韓半島 問題

(가) 韓國政府가 主導하는 南北接觸을 美國政府는 支援

(나) 東北亞 平和維持를 위해 韓國政府가 緊密한 關係 持續

※ 7.4 共同声明으로 韓半島의 自決原則 強調

4) 美·中共 和解의 余波

(가) 日·中共 接近을 刺戟 (1972.9 國交正常化)

(나) 中共은 美國을 活用, 蘇聯의 牽制 試圖

(다) 蘇聯의 印度洋 進出 促進 (아시아 集團安保 構想 具體化)

(라) 國際情勢에 대한 中共의 影響力 增大( 71.10. UN 加入 )

(마) 印支의 共產化 促進( 파리 平和協定, 美軍 撤收 )

다. 最近 動向

- 1) 中·蘇紛爭의 激化
- 2) 美國의 退陣에 따른 東北亞의 勢力 再編成
- 3) 美·日을 活用, 蘇聯의 威脅과 아시아 進出의 抑制試圖
- 4) 對西方 外交의 強化로 實利政策의 追求
- 5) 周邊國家에 非敵對的인 政權의 成立 試圖
- 6) 民主解放戰爭路線, 平和共存路線의 並行
  - 가) 戰爭路線 : 社會, 政治, 體制의 不安, 經濟的 落後地域
  - 나) 平和共存 : 社會, 政治, 體制의 安定化, 經濟的 發展地域
- 7) 暫定的으로 東北亞에 美軍駐屯을 默認
- 8) 南韓의 赤化時期 造成 爲해 金日成에게 南北韓 緊張緩和 勸誘도 可能 予想

### 3. 中共의 對韓半島觀

#### 가. 中共의 對韓半島觀

- 1) 韓半島 問題에 대해 지금껏 北韓을 支持
- 2) 韓半島에 原則적으로 中共 스타일의 政權 成立 希望
- 3) 現實적으로 中共에 非敵對的 지대화 努力
- 4) 北韓을 蘇聯보다 中共에 密着토록 誘導
- 5) 韓半島에 대한 外勢의 干涉을 排除
- 6) 따라서 反帝 民族主義에 의한 統一을 支持

#### 나. 70年代의 中共

- 1) 中·蘇紛爭의 激化
- 2) 對西方外交의 強化로 實利主義 政策 指向
- 3) 對外協力 強化로 近代化 追求
- 4) 蘇聯의 威脅과 아시아 進出 抑制 試圖
- 5) 美國을 活用하여 蘇聯威脅을 潛在化 試圖
- 6) 美·日과의 協力 強化

#### 다. 北韓의 對 中·蘇 姿勢

- 1) 金日成 体制의 安定
- 2) 領土保全, 內政不干涉
- 3) 安全保障의 担保 (美軍撤収)

- 4) 軍事, 經濟的 援助
- 5) 國際的 地位 向上
- 6) 韓半島 赤化統一의 支援

#### 라. 中共・北韓의 相關性

- 1) 아시아 共產主義, 一人獨裁體制
- 2) 歷史的, 地政學的 連帶性
- 3) 傳統的으로 中國의 文化圈
- 4) 韓國戰 參戰으로 血盟之間
- 5) 唯一思想의 開發
- 6) 武力 革命을 信奉하는 好戰性

#### 마. 對北韓 姿勢

- 1) 毛次東 戰法에 따른 人民革命戰略의 支援可能性 尙存
- 2) 勝利不可決한 北韓의 挑發은 支援치 않으나
- 3) 北韓의 對南挑發의 固執에는 不干與
- 4) 70年代 中共의 政策 方向을 勢力均衡에 力點
- 5) 暫定的으로 東南亞에 美國의 駐屯을 認定
- 6) 韓半島 赤化의 決定的인 時期 誘導 爲해 南北間의 緊張  
緩和 勸誘 可能

#### 4. 日・中・蘇 3角關係

##### 가. 概 要

- 1) 시베리아 開發의 條件으로 蘇聯의 아시아 集團安保에 加担 要求
- 2) 日本은 平和條約, 經濟協力의 代價로 北방 4도 返還要求
- 3) 日本은 1970年代부터 蘇聯의 第1 貿易相對國 (6億5千3百萬弗)
- 4) 中・蘇紛爭은 中・蘇가 日本에 對해 競爭關係로 만들
- 5) 日本은 中・蘇紛爭을 活用 實利追求에 力點

##### 나. 日・蘇 關係

1. 시베리아 開發
- 가. 日・蘇 經濟協力は 시베리아 開發에 重點
- 1) 나고도카-이르쿠츠크란 送油管 高速道路 一部 建設
  - 2) 送油管은 수쿤대가 中・蘇國境에 隣接
- 나. 투멘오일 資源開發
- 1) 1981年부터 20年間 2,500만톤 原油 一齊 提供
  - 2) 나호도카에 精油所 建設 50% 分割
  - 3) 1973年 蘇聯의 極東地域 原油 使用量 750만톤이나 81年 1500萬톤으로 予想
  - 4) 日은 80年代 蘇聯으로 부터 10% 石油 充當 企圖



다. 問題点

- 1) 시베리아 開發을 中共 反對
- 2) 시베리아 輸送鐵道는 中共 安保 威脅
- 3) 美·日의 共同 參與 困難

2. 아시아 集團保障 構想

- 가) 武力使用의 拋棄
- 나) 相互 內政不干涉
- 다) 主權 및 國境의 尊重
- 라) 平等互惠에 立脚한 經濟協力
- 마) 平和와 安全의 尊重

나. 問題点

- 1) 中共 : 아시아 集團安保論 反對
- 2) 蘇聯 : 아시아에서 中共의 孤立 및 蘇聯勢力 強化
- 3) 日本 : 北方 領土 回復 企圖

3. 북반 4 도 問題

- 가. 日本 漁業의 重要地帶 ( 1400 여隻의 漁船 12,000 여名の 漁夫抑留 )
- 나) 戰略적으로 樞카이도 北方近海
- 다) 에도로프에 蘇聯 飛行場, 核実験 探知基地 設置
- 라) 사또는 알라스카해를 따라 北方領土 回復 希望

## 다. 問題点

- 1) 北方領土는 經濟, 安保, 戰略的 狀況이 엄肅
- 2) 北方領土問題는 中·蘇 國境問題와 連繫됨

## 라. 日·中共 關係

### 1. 日·蘇關係에 대한 中共 立場

- 가) 시베리아 開發은 蘇聯의 極東軍事力 強化 招來
- 나) 시베리아 開發에 軍事的 要因 投入 反對
- 다) 戰略的 要因 投入境遇 日本 安保도 威脅된다고 主張
- 라) 中共의 主張에 日本言論界, 自民黨 指導部, 防衛責任者들의 相當數가 蘇聯을 假想的인 敵으로 看做
- 마) 中共의 石油資源에 日本關心 增大
  - 1) 73 : 5千萬噸
  - 2) 75 : 638千萬噸 ( 1億1萬噸 輸出可能 )
  - 3) 80 : 2億5千萬噸 對日輸出 予想

### 2. 日·中共 協力

- 가) 理念, 體制 相異에도 協力 急增
- 나) 共同文化圈, 經濟的補完性, 戰略的 地位의 類似性
- 다) 日本은 日·中 貿易 美·유럽 市場 惡化로 中共 러쉬
- 라) 周恩來 : 日의 技術, 中共의 資源을 바꾸는 貿易은 兩國에 도움이 된다. ( 73.9 高교로 우에무라와의 會見 )

- 나) 74年 28億弗 去來 76-77年 50億弗 上廻 予想
- 바) 國際情勢는 日・中間의 政治, 經濟協力 增進 刺戟
- 사) 日・中 協力은 日本世界經濟利益, 中共에게 政治的 利益 賦与
- 아) 霸權主義 反對로 政治的 對立要因 增大

### 3. 小結論

#### 가. 台灣問題

- 1) 日本 : 台灣의 將來는 美・中間의 問題로 看做
- 2) 美國 : 台灣問題를 迂廻하면서 亞, 太地域의 勢力均衡에 置重
- 3) 中・蘇紛爭 : 美日協力은 日・中共 協力 增進 促進
- 4) 蘇聯의 亞, 太 進出企圖는 美・日・中共 協力 誘導
- 5) 蘇聯 : 아, 太進出과 中共 封鎖 企圖로 亞細亞集團安保論 拳論
- 6) 中共 : 日本의 北方領土 返還 容용, 시베리아 開發 不願
- 7) 日本 : 中・蘇의 競爭的 關係를 利用, 實利追求

## 5. 金日成의 中共訪問

### 가. 動 機

#### 1. 印支事態의 影響

- 가) 印支는 毛沢東式 革命成功 다른 例
- 나) 周邊國家에 대한 中共의 影響力 增大
- 다) 韓半島에서 印支式 共產化 試圖
- 라) 對南赤化 戰略에 대한 中共의 支援 誘導
- 마) 東北亞에 대한 強大國의 關心 急增

#### 2. 中共의 内部情勢

- 가) 75.1 穩健派가 軍事指導權 掌握 周邊共産党的 好戰性 牽制 予想
  - 國防部長 : 葉劍英, 總參謀長 : 鄧小平
- 나) 毛·周體制 斜陽推勢 顯著
- 다) 韓半島 平和定着이 方向에 대한 中共 態度 模糊
- 라) 美·日·中共間의 協力 增大

#### 3. 韓半島 情勢

- 가) 金日成의 對南赤化野慾 高潮
  - 땅굴事件, 海岸挑發, 武裝間諜南派 等
- 나) 金日成의 戰爭準備完了 豪言, 75年을 革命勝利의 해로 豪言

- 軍裝備現代化 ( OSA 급 誘導警備艇 包含, 驅逐艦, 潛水艦, 美 219, 美 221 新銳戰鬪機 AN 2 輕輸送機 Frog 7 등 大量 導入 )

다)北韓의 經濟計劃 不振 ( 外債 19 億 달러 )

라) 韓國內 一部 政府 批判을 親共으로 發展誘導

#### 나. 目 的

- 1) 印支式 韓半島 赤化
- 2) 韓半島 交叉承認의 事前 封鎖
- 3) 駐韓 美軍 撤收 및 第 3 次 유엔 對策
- 4) 6 個年 經濟計劃 墜跌에 따른 經濟 援助
- 5) 現代武器의 導入, 軍援의 確保

#### 다. 結 果

- 1) 金日成의 印支式 對南赤化 企圖 難航
- 2) 韓半島 統一에 金日成의 主導權 再確認
- 3) 유엔軍司 體制 駐韓美軍 撤收 強調
- 4)北韓은 台灣 解放을 위한 中共의 鬪爭을 支持
- 5) 韓半島의 自主平和統一 다짐
- 6) 經濟, 軍事援助, 協力의 強化

金日成의 對南 侵略 野慾 旺盛

## 6. 金日成의 對南戰略

### 가. 東北亞 情勢

- 1) 印支의 共產化로 周邇國家에 대한 中共의 影響力 增大
- 2) 東北亞에 대한 強大國의 關心 增大
- 3) 美國의 아시아 防衛公約에 대해 會議
- 4) 東北亞에 대한 日本의 役割을 重視
- 5) 東北亞에 대한 共產主義의 威脅 加重

### 나. 韓半島 情勢

- 1) 金日成의 對南赤化野慾高潮 : 땅 굴事件, 海岸挑発, 武裝間諜南派
- 2) 金日成 戰爭準備完了豪言 : 75年을 革命동태의 해
- 3) 北傀의 休戰線隣近에 軍事力 集中 : 곡산飛行場, 誘導彈,  
2個機甲師團配置
- 4) 北韓의 經濟開發 難航 (外債 19億弗)
- 5) 美國의 對韓防衛 重要性 強調, 日本의 對韓 關心 增大

### 다. 金日成의 戰略

- 1) 印支式 韓半島의 赤化 企圖
- 2) 駐韓美軍 撤収 위한 유엔外交 強化
- 3) 韓半島 交叉承認에 의한 平和政策 方案 封鎖
- 4) 中·蘇의 經濟 軍事支援 獲得으로 南韓赤化 企圖

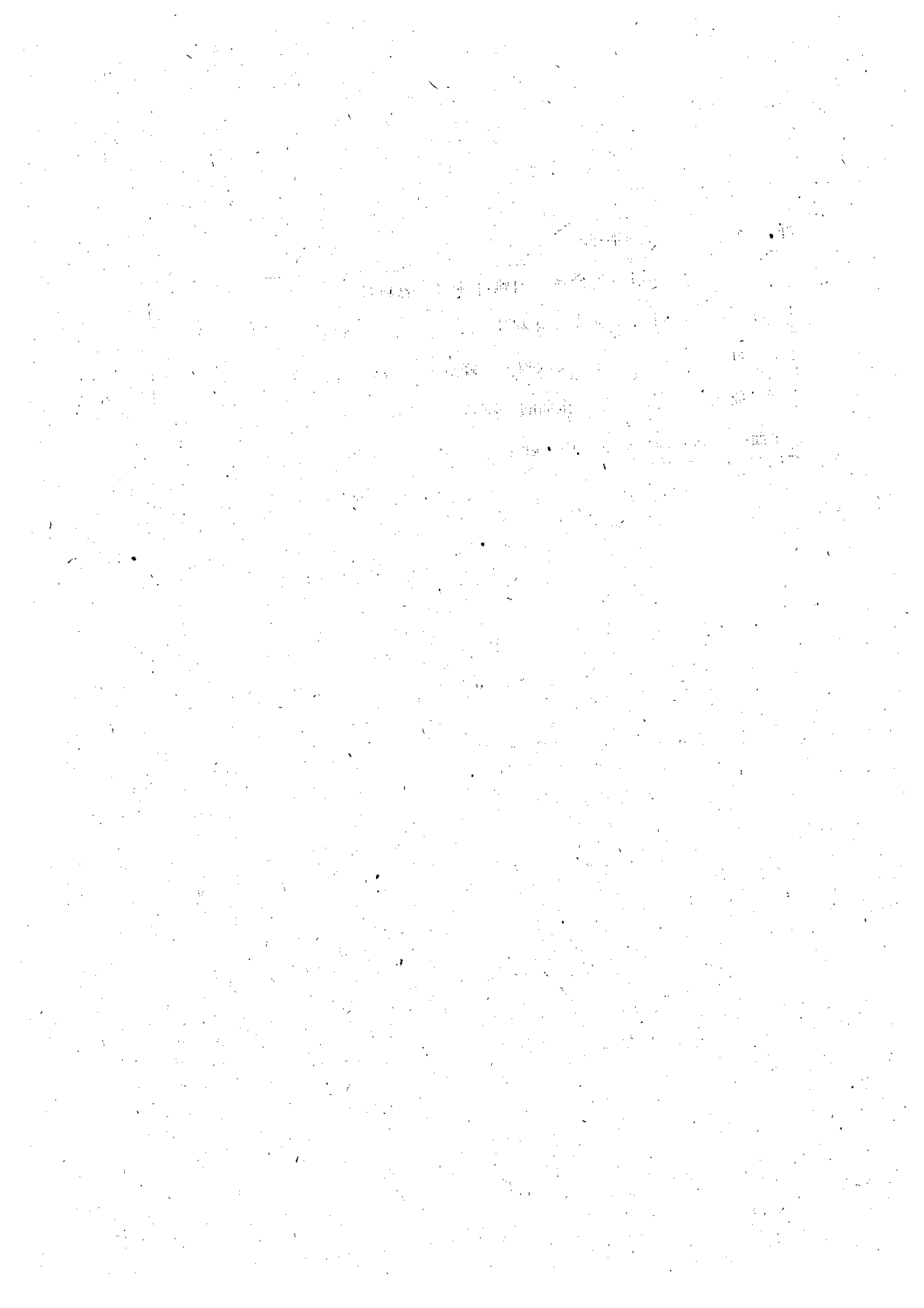
라. 中·蘇의 立場

中 國	蘇 聯
<p>1) 毛沢東式 戰法에 따른 對南戰 略 支援 可能性 尙存</p> <p>2) 70年代 政策方向은 勢力均衡 에 力點</p> <p>3) 暫定的으로 東北에 美軍駐屯을 希望</p> <p>가. 美軍撤収時 韓國戰 再發 憂慮</p> <p>나. 日本의 再武裝 促進</p> <p>金日成의 挑發에 對해</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 勝利不可한 挑發은 支援치 않을 것임</li> <li>○ 蘇聯의 極東介入 擴大</li> <li>○ 日本의 再武裝 促進</li> <li>○ 北韓은 戰略上 要衝地나 對美 日 協力 緊要</li> </ul>	<p>1) 美·日과 協力 試圖</p> <p>가. 中·蘇紛爭으로 北韓 包摂 試圖</p> <p>나. 北韓의 挑發에 同調할 境 遇</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 對美·日關係 惡化</li> <li>2. 日本의 再武裝 促進</li> <li>3. 美·日同盟 強化</li> <li>4. 中共 介入으로 中共의 影響力 增大</li> <li>5. 아시아 集團安保 構成에 惡影響</li> </ol> <p>다. 韓半島의 現狀固定化를 試 圖하나 애매한 立場 堅持</p>

다. 金日成의 行動半徑

- 全面 戰爭의 挑發은 困難하다고 思料됨
  - 武裝계 련려 浸透로 南韓의 混亂 惹起 誘導
  - 이것을 南韓內의 反政府 蜂起로 偽裝宣傳 試圖
  - 成果에 따라서는 全面的 不可
- 全面戰으로 飛化되면 中·蘇는 北韓을 支援





### Ⅲ . 中共의 軍事力과 韓半島

100

101

102

103

104

105

106

107

108

109

110

111

112

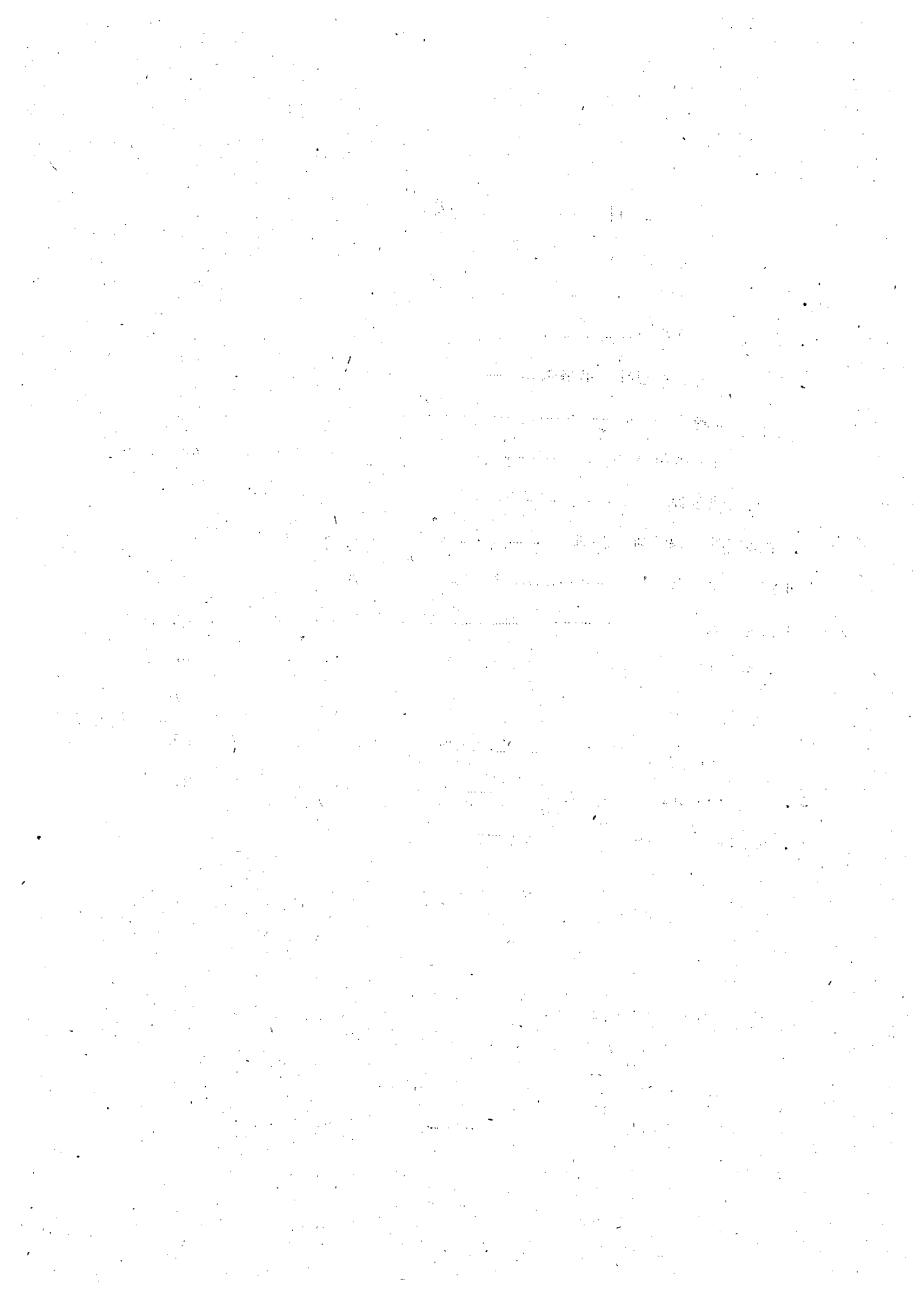
113

114

115

## 目 次

1. 中共軍의 概況 .....	47
2. 中共軍의 沿革 .....	51
3. 中共의 軍事思想과 軍事戰略 .....	61
가) 軍事理論 .....	61
나) 게릴라 戰爭 .....	63
다) 人民戰爭論 .....	67
4. 中共軍의 編成과 裝備 .....	76
가) 陸 軍 .....	76
나) 海 軍 .....	82
다) 空 軍 .....	84
라) 民兵, 生産兵團 .....	87
마) 核武器 .....	89
5. 中·蘇·北傀의 軍事協力 .....	92
6. 結 論 .....	95



## 1. 概 況

### 가. 中共軍의 特徵

- 1) 地域防衛特殊与件에 立脚한 防衛体制
- 2) 中央軍, 地方軍区軍, 獨立軍, 警備軍, 特殊兵으로 編成
- 3) 中央軍事委와 總司令部 地方軍区司令官부의 二重的 命令体制
- 4) 陸軍은 軍区司令부의 統率 比重 크나, 海·空軍 中央統率
- 5) 部隊에 따른 自動裝備 甚大
- 6) 生産兵團, 民兵, 地方軍 確保로 生産과 戰爭 業務 直結
- 7) 軍区制 採択으로 軍事的 自治化
- 8) 辺方軍 保有로 國境防衛 專担
- 9) 軍区 領域 甚大로 성정부 統制
- 10) 政治委員會를 통한 党的 絶對的인 支配

#### 나. 一般狀況

- 1) 正規軍 300 萬 + 基幹民兵 3,000 萬 + 民兵 1.7 億
- 2) 量的인 軍事超大國
- 3) 防禦力 確保에 汲汲
- 4) 現代화된 軍隊 養成에 注力
- 5) 資本, 技術, 資源不足에 困境
- 6) 國防費 年間 100-120 億弗
- 7) 服務年限
  - 陸軍 - 2 年
  - 空軍 - 3 年
  - 海軍 - 4 年

#### 다. 陸 軍

- 1) 世界 最大の 地上軍 保有 - 250 萬
- 2) 11 個의 1 級軍區로 編成
- 3) 第 2 포병 米사일部隊 組織 ( 1967 )
- 4) 世界 最長의 國境線에 蘇聯과 對峙
- 5) 對戰鬪戰車, 裝甲車 大量生産 輸出

#### 라. 海 軍

- 1) 1,300 余隻의 重形級 以上 艦艇保有 ( 100 噸內外 ) 6,18 萬여명
- 2) 極東全域을 커버하는 米사일 積載潛水艦 就航 ( G-형 )
- 3) 大型原子力 潛水艦 建造中 ( 美國防省 情報 )

- 4) 防禦 爲主의 戰鬪用 艦艇이 主力
- 5) 北海, 東海, 南海 艦隊로 防禦

#### 마. 空 軍

- 1) 미그 15, 17, 21 기 4,500 여대 保有
- 2) 1964年 미그 改良機 蘇聯水準 到達 (F-9)
- 3) 1971年 以後 年間 300-400 機 生産
- 4) Tu-16 重爆撃機 多量 生産
- 5) 戰鬪機 爲主의 空軍
- 6) 22 만여 명

#### 바. 核武器

- 1) 16 회 核實驗, 3 차례 人工衛星實驗
- 2) 蘇聯, 아시아, 구라파 攻擊 可能한 IRBM 確保 (3500 마일)
- 3) 新疆, 吉林省에 미사일 試驗場 設置
- 4) 世界 第3의 核武器 保有國
- 5) 中共軍의 現代化 集中 試圖
- 6) 世界 最大規模의 軍隊
- 7) 軍裝備는 準現代化 狀態
- 8) 陸軍이 數的으로 優勢, 海, 空軍 微弱
- 9) 軍隊 優越의 政治體制 國家
- 10) 人民戰爭 戰略에 의한 防禦體制



사. 中共과 韓國

- 1) 核을 保有한 好戰的인 共產國家
- 2) 休戰協定の 當事國
- 3) 韓半島 尙題에 대해 北韓을 支援
- 4) 韓國의 統一과 安保에 대한 影響

## 2. 中共軍의 沿革

### 가. 沿革

#### 1. 井崗山 鬪爭記

- 가) 1927.8.1 南昌 暴動으로 共產主義 運動과 軍事問題를 結合 試圖 ( 8.10 中共軍 創建日로 記念 )
- 나) 1928.5. 第4 紅軍 ( 朱德司令官, 毛沢東 政治委員 ) 創設로 具體化
- 다) 1931.11. 강서 소바에트 대 회시 30 萬軍으로 成長
- 라) 1935.9. 長征 失敗로 3 - 4 만으로 縮少
- 마) 1928-35 多樣한 形態의 系譜에 따라 聯合, 成長

#### 2. 5 個野戰軍

- 가) 第1 野戰軍 : 彭德懷, 賀龍, 30 年代 양즈강중류, 40 年代 北中國
- 나) 第2 野戰軍 : 徐向前, 張國 ( 30 年代 ) + 劉伯承 ( 40 年代 ) 合勢  
長征前은 양즈강동부, 抗日戰時 分散部隊로 滿洲 毛에 引繼
- 다) 第3 野戰軍 : 陳毅軍과 新四軍 合勢  
長征時와 抗日時 양즈강하류, 解放戰爭時 동부
- 라) 第4 野戰軍 : 1 로군 ( 강서소비 ), 林彪의 115 師團 合勢  
抗日時 北中國, 滿洲, 광동 중부 ( 解放戰爭 )

- 마) 第5野戰軍 : 聶榮主등이 抗日前期 4로군에서 成長  
北中國을 舞臺로 活躍
- 바) 中共軍은 지금까지도 野戰軍 中心으로 活用
- 사) 1, 2, 3, 野戰軍은 中·南部中國, 4~5野戰軍은 北中國을  
舞臺

### 3. 抗日戰記

- 가) 1937.9 : 國共合作으로 주덕과 엽길영 傘下에 3개사  
92,000 명을 國府軍에 編入
- 나) 1940. : 신 4군, 8로군 도합 13만으로 成長
- 다) 1945. : " 88단으로 發展

### 4. 解放戰爭記

- 가) 従来の 野戰軍 單位를 地域單位로 中央企劃區, 산서군구, 審  
陽軍區의 3개구로 編成
- 나) 1946.6. 130萬으로 成長
- 다) 1949.6. 400萬으로 成長
- 라) 1950.6. 500萬으로 成長

### 5. 韓國戰爭記

- 가) 1950.5 新강을 解放하자 일단內戰 마무리로 軍減縮  
緊要

- 나) 1950.10. 韓國戰參戰으로 軍部內的 複雜性 除去 試圖
- 다) 1954. 彭德懷를 國防部長 任命으로 減軍進行 (350 만)
- 라) 1955. 行政區域에 따른 1, 2, 3級 13個 軍區로 改編

#### 나. 軍區制度

##### 1. 軍區의 變遷

- 가) 內戰期: 山西, 審陽, 中央軍區로 分類 統率
- 나) 政權成立後: 大軍區, 省軍區, 軍區, 小軍區의 4段階로 分類  
行政區域에 상응한 軍區 施行
- 다) 大軍區는 5 - 10 個省 管掌

- |         |          |
|---------|----------|
| 1) 北東軍區 | 2) 北中國軍區 |
| 3) 中部軍區 | 4) 南部軍區  |
| 5) 南東軍區 | 6) 北西軍區  |

##### 2. 改革 (1955)

- 가) 1955年 大軍區, 行政府 單位 改編
- 나) 1級軍區, 2級軍區, 3級軍區 改編 (13個軍區)

##### 3. 1970年 改革

- 가) 內蒙古 軍區 廢止 - 審陽, 北京, 滿洲軍區에 分割 編入
- 나) 티벳軍區가 蘭洲軍區 傘下로 編入

- 다) 行政区域: 單位와 軍區 試函
- 라) 1級軍區 10區, 獨立軍區 1區로 改編
- 마) 1級軍區는 1-3個省 管掌으로 成長보다 강한 政治權力行使
- 바) 軍區司令官의 遲延, 派閥, 長期勤務는 政治力量 增大

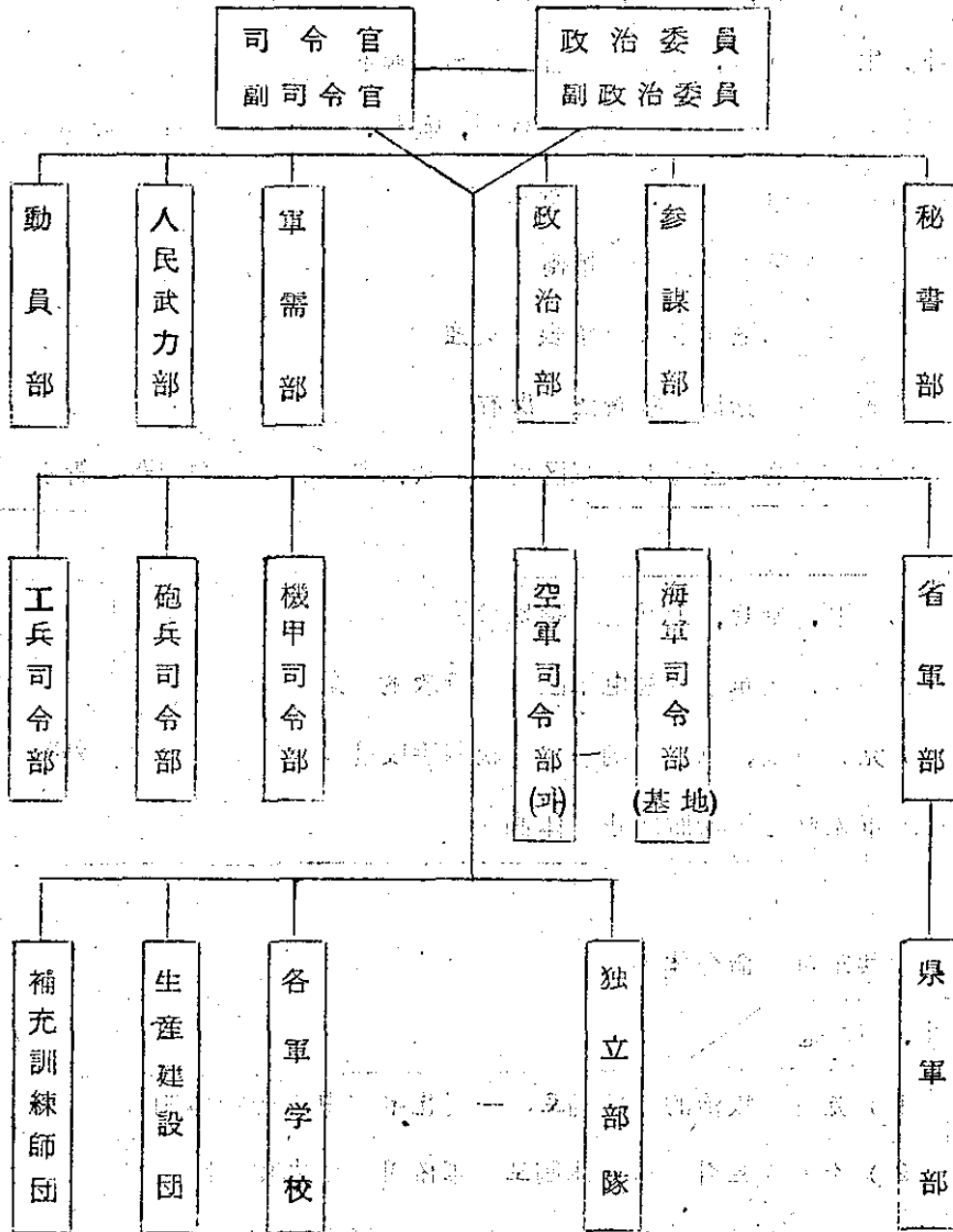
#### 4. 1級軍區

- 가) 瀋陽軍區 - 北東地省 9個省, 烈河東部 支配
- 나) 北京軍區 - 河北省, 차할, 山西省, 烈河西部, 水雲東部: 管掌
- 다) 濟南軍區 - 山東省 一円 管掌
- 라) 南京軍區 - 甘肅省, 安徽省, 浙江省 管掌
- 마) 福州軍區 - 福建省, 江西省 管掌
- 바) 武漢軍區 - 河南省, 湖北省 管掌
- 사) 廣州軍區 - 湖南省, 廣東省, 廣西省 管掌
- 아) 蘭州軍區 - 陝西, 甘肅, 寧夏, 青海省, 水雲東部 管掌
- 자) 成都軍區 - 四川, 티벳 管掌
- 차) 昆明軍區 - 雲南省, 貴州省 管掌
- 카) 新疆( 독립 ) - 新疆地方 管掌

- 가) 南京, 福州, 廣東, 昆明, 蘭州軍區는 동남 남동방어 위한 2-3개성 軍區 聯合體
- 나) 內蒙古는 3個軍區로 分離編入되어 蘇聯, 外蒙古 侵入防禦
- 다) 濟南軍區는 명따오호수의 海軍 基地 保護에 重點
- 라) 산둥, 요동 반도는 包海를 中心한 北京外廓基地 防禦

- 가) 1級軍區는 中共安保의 血脈
- 나) 國防부와 省軍區를 連繫하는 中間機構
- 다) 省單位 以下 軍區의 直接的인 空除와 監督機關
- 라) 地域防禦, 公安維持, 民兵訓練

叶. 1級軍区の 組織



## 5. 評 価

- 가) 獨立部隊, 警備兵, 技術兵, 軍事學校 管掌
- 나) 生産, 建設, 民兵團 管掌으로 國家發展 圖謀
- 다) 軍區의 地位에 맞는 統制, 監督, 補充兵 訓練 管掌
- 라) 駐屯軍의 作戰, 命令管掌
- 마) 中央軍의 權限과 相衡
- 바) 辺方 軍區司令官 權限 莫強
- 사) 省軍區 指揮 監督權 保有
- 아) 中央軍은 当地 1級軍區의 作戰, 訓練, 行政的 問題 管掌

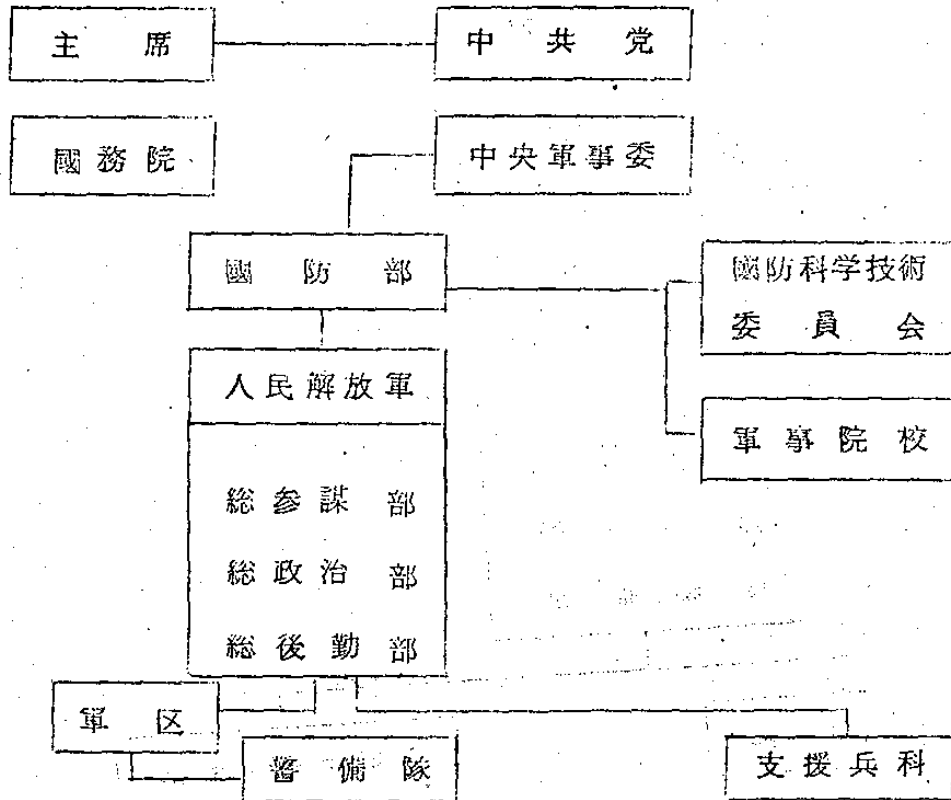
- 가) 機甲, 砲兵, 工兵은 特殊參謀部와 司令官 二重統制
- 나) 海軍, 空軍은 駐屯軍區의 行政的 業務만 統制
- 다) 黨, 行政, 軍의 劃一的 統制手段인 中央集中制의 效率化, 圖謀
- 라) 軍部勢力 膨脹防止 體制

## 다. 中共軍의 命令體系

### 가. 概 念

- 1) 黨의 政治的 統制로 一團화된 中央統制體制
- 2) 소비에트식 軍事體制로 軍權의 極大化 防止
- 3) 政治委員에 最終政策 決定權 賦与

4. 中共軍의 命令 系譜

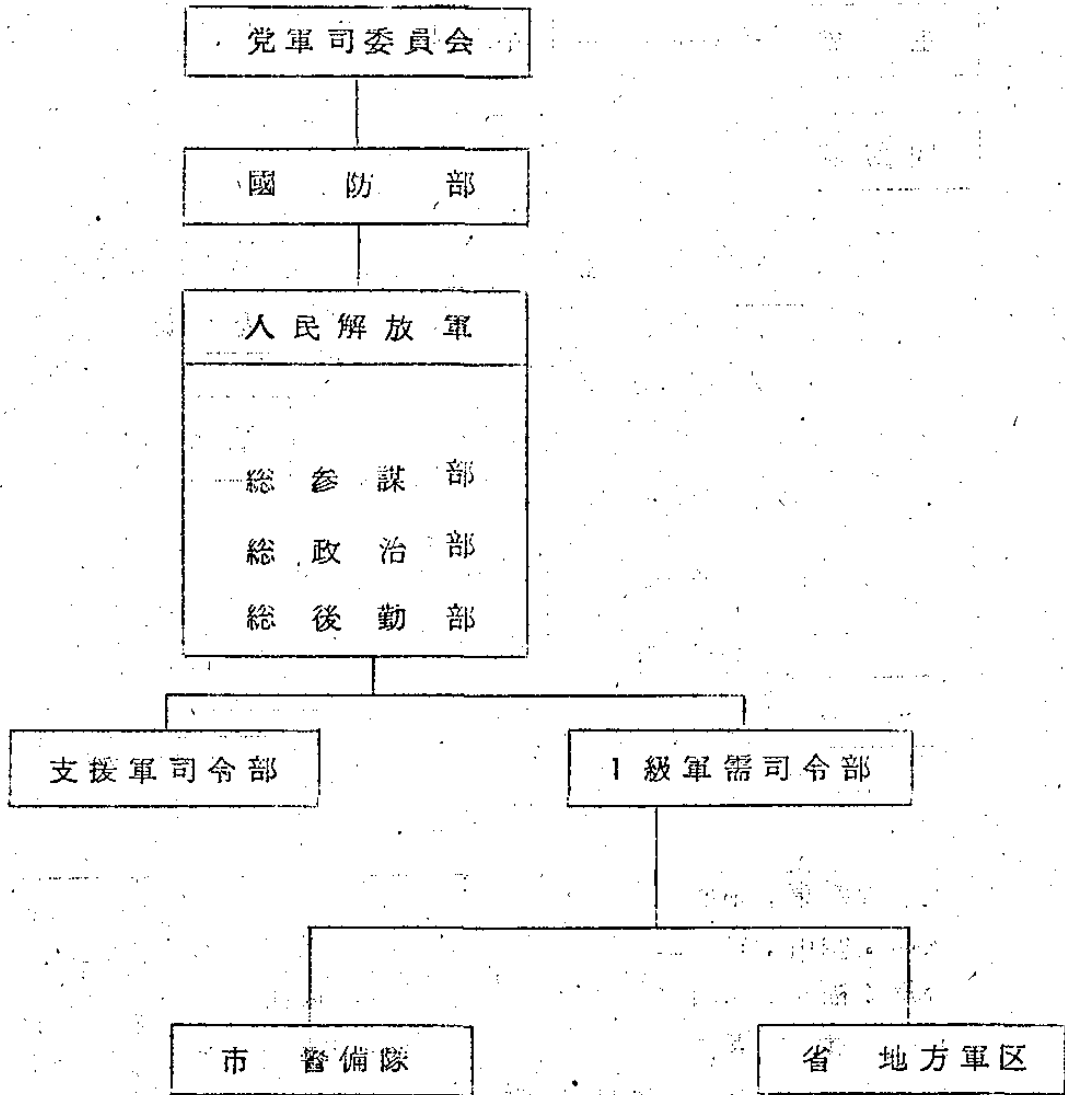


廣州：廣東，湖南  
 成都：四川，티베트  
 福州：福建，江西  
 昆明：貴州，雲南  
 蘭州：青海，甘肅，寧夏，山西  
 南京：浙江，安徽，江西  
 北京：河北，山西  
 瀋陽：吉林，遼寧，黑龍江  
 濟南：山東  
 武漢：河南，湖北  
 新疆：新疆

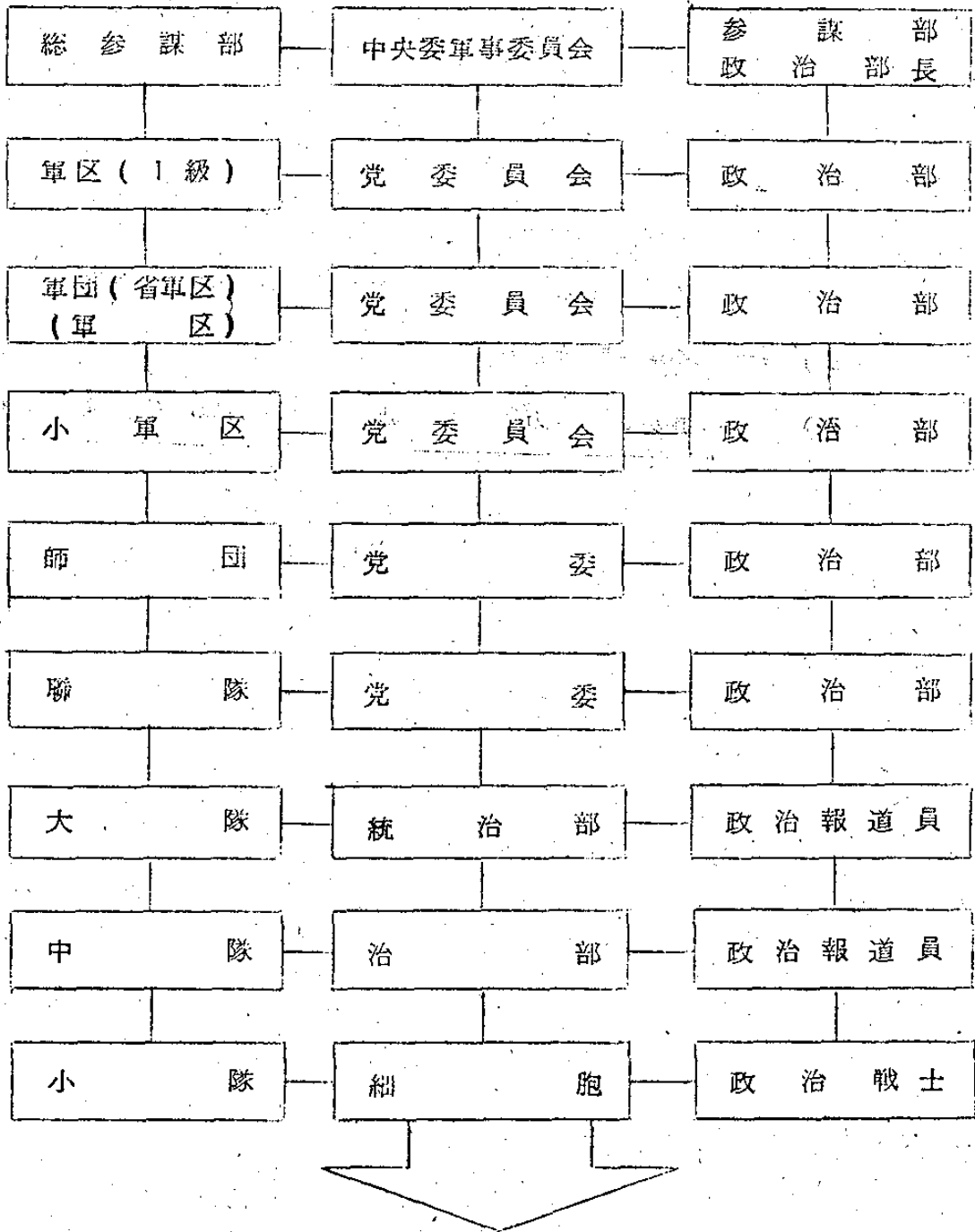
廣州	天津	空軍	工程兵
정주	武漢	機甲兵	騎兵
라사	기타 주요도시	砲兵	第2砲兵
목단		空兵	傘兵
北京		海軍	輸送兵
上海		鐵道兵	民兵
		通信兵	
		公安部隊	



다. 中共軍의 命令体系



라. 中共軍의 政治統制的 機能



外  
四

마. 分 析

- 1) 中央軍事委에서 政治戰士까지 政治工作員이 軍과 黨을 統制
- 2) 1972年 集計에 의하면 29個 省市行政官의 45% 以上이 軍出身
- 3) 軍区司令官, 政治委員은 거의 中央委員
- 4) 政治委員은 支部黨 省政府 軍權 掌握
- 5) 地方軍区에 대한 黨의 効果的 統制 爲한 体制確立
- 6) 劃一的指導体制 確立의 技巧的 手段
- 7) 中央軍事委는 地方軍区와 駐屯軍에 別個 情報網 確保

### 3. 毛澤東의 軍事思想

#### 1. 哲學的 基礎 - 實踐論과 矛盾論

- 가. 實踐論 - 1) 戰略立案에 必要한 事態把握의 基本的 要領  
2) 認識論에 관한 講座  
3) 軍事的인 比論 - 情報論
- 나. 矛盾論 - 1) 把握된 事態의 適応과 利用으로 共產化 方案  
2) 軍事的 比論 - 作戰論
- 다. 軍事理論의 性格과 根拠
- (1) 執筆動機 - 1) 敎條主義와 冒險主義者들의 잘못된 思想이  
1930-34 中共革命에 莫大한 解毒  
2) 長征을 잘못된 軍事路線의 結果로 糾彈  
3) 當面 軍事政策의 體系化가 緊要

#### 2. 實踐論 (1937.1)

- 가) 實踐을 통해 真理를 發見하고, 實踐을 통해 真理를 立證하  
며 이를 發展시킴
- 나) 實踐은 感性的 認識 - 能動的으로 理性的 認識으로 發展  
- 革命的 實踐을 指導 - 主觀, 客觀, 世界를 改造
- 다) 實踐, 認識, 再實踐, 再認識이라는 形式이 循環 反復되고, 各  
循環마다 實踐과 認識의 內容이 弁證法的 唯物論 認識論의  
全體이며 이것이 弁證法的 唯物論의 지행통일관이라 主張

### 3. 矛盾論 ( 1937.7 )

- 가) 實踐論的 認識에서 把握된 現實을 共產化에 利用 方法
- 나) 遊擊戰, 持久戰, 統一戰線, 黨活動 理論, 大衆路線 등 重要問題를 包括하고 있는 戰略과 工作指針의 原理
- 다) 두개의 世界觀 矛盾의 普遍性, 모순의 特殊性 重要한 모순, 모순의 重要한 側面, 두側面의 同一性和 鬭爭性 모순의 敵對的 地位 事物에 있어서의 모순의 法則을 다른 革命戰略

#### 가. 矛盾論의 骨子

- 1) 矛盾의 보편성과 特殊性 : 事物발전에 제1 요인은 事物에 內在하고 있는 矛盾
- 2) 모든 矛盾은 그대로의 特殊性을 含有하므로 同一時 不可
- 3) 質的으로 다른 矛盾은 다른 方法에 의해 處理 - 蘇聯과 中國革命의 相異性 強調

#### 나. 矛盾의 特殊性

- 1) 重要한 矛盾과 從屬的인 矛盾
  - 2) 諸矛盾은 平均的으로 同一時 할 수 없고
  - 3) 어느 한 矛盾이 諸矛盾間의 逆關係를 통해 支配的 地位 占有
  - 4) 重要한 矛盾에 力點을 두어 處理해야 함
  - 5) 力關係의 正確한 分析과 그에 立脚한 方針 및 戰爭形態를 決定토록 強調
- ※ 1957. 人民內部 矛盾의 正確한 操縱에 關係 : 敵對的 矛盾  
非敵對的 矛盾

## 2. 戰略思想의 系譜

### 가. 定義

- 1) 独自の이건 하지만 Clausewitz에 影響
- 2) Clausewitz 맑스, 레닌, 스탈린 毛의 戰略思想  
손, 오병서, 傳統的 中國 軍事戰略
- 3) 人民戰爭  
1) 理論化 - Clausewitz  
2) 實踐大綱化 - 맑스, 엥겔, 레닌  
3) 軍事戰略化 - 毛沢東

### 나. 크라우제비츠

- 1) 戰爭論에서 스페인戰爭에서 보는바와 같이 戰爭이 人民戰爭으로 進行될때 --- 하나의 참다운 勢力이 發生  
--- 그리고 人民戰爭은 人民 特有의 防禦手段 講究

人民戰爭의 可能性 指摘

### 다. 맑스, 엥겔스

- 1) 戰爭에서의 人民에 의한 게릴라 活動의 重要性 強調
- 2) 獨立하기를 원하는 人民은 戰爭의 在來方式에 滿足해선 안 된다. 暴力, 叛亂, 게릴라 戰略은 弱小民族이 큰 民族을 이겨낼 수 있는 方式이며, 약한 軍隊가 強軍에 對抗할 수 있는 唯一의 길

#### 라. 레닌의 빨치산 理論

- 1) 맑스레닌은 特定戰鬪方式에 運動을 固定하지는 않음  
各種 戰爭 形態를 그 歷史的 狀況에서 檢討되어야 함
- 2) 經濟開發의 段階에 맞추어 그리고 政治, 經濟, 文化, 社會  
其他 條件의 變化에 따라 重要하기도 하고 支配的일 수  
있음

※ 毛沢東의 人民戰爭論과 類似한 指摘

#### 마. 毛沢東과 레닌의 類似性

- 1) 抗日戰 3 段階 作戰形態
  - (1) 運動戰, 遊擊戰, 陣地戰
  - (2) 遊擊戰, 運動戰, 陣地戰
  - (3) 運動戰, 陣地戰, 遊擊戰
- 2) 레닌의 新論 (가) 暴動이 短期的이고 狹小한 地域에 限定  
遊擊戰과 類似 되어 一擧을 가하고마는 넓은 方式을  
容納 不応  
(나) 보다 複合的이고 發展的인 形態의 持久的  
인 市民戰爭으로서 人民의 한部分이 다른  
한 部分에 대해 全國的인 武裝鬪爭하는  
形態를 取하라.

### 마. 毛沢東

- 1) 크라우제비츠의 戰爭은 다른 手段에 의한 政治의 連續은 마르크스, 레닌, 毛에 影響
- 2) 이것은 人民戰爭論이 政治戰爭을 包括케 하여 共產化 戰略을 多樣하게 만든 動機
- 3) 初期 西歐의 戰略이 毛에게 影響을 미침
- 4) 漸次 毛戰略이 具體化되면서 獨自化
- 5) 蘇聯이 中共의 게릴라 戰術을 逆輸入으로 看做
- 6) 中共의 戰略, 戰術에 蘇聯이 끼친 影響 極少
- 7) 人民戰爭論은 毛에 의해 完成

### 3. 毛의 軍事上的 變遷

#### 가. 變遷

- (1) 1927 ~ 28 初期 井崗山 鬪爭에서 싹틈
- (2) 1931 ~ 35 5 차 소공작전에서 試驗 발전
- (3) 1936 ~ 37 中國革命 戰爭의 戰略問題를 發表로 理論化
- (4) 1946 ~ 人民戰爭 人民軍隊로 發展

#### 나. 井崗山 鬪爭

- 1) 1927.8.1 南昌 暴動으로 共產化 運動과 軍事問題를 具體적으로 結付 (紅軍 - 1928.5. 周·毛軍의 第4 軍 創設)



다. 南昌暴動 失敗

- 1) 軍에 대한 無關心 払拭
- 2) 民衆工作의 重要性 강조
- 3) 농촌에 의한 都市의 包圍戰略 開發
- 4) 革命戰略의 제정의로 蘇聯과 中國革命 戰略의 相異點 강조
- 5) 竊取者 遊擊戰術 開發
- 6) 政治工作 原則 確立
- 7) 政治煽動, 組織의 重要性 強調 ( 1929.12 )
- 8) 紅軍은 싸우면서 大衆을 煽動하고 組織하며, 武裝化하는 任務 - 3대 方針수의로 徹底한 軍民一致, 將兵一致感 浮刻

라. 抗日戰記

- 1) 中國革命 戰爭의 戰略問題 ( 1936.12 ) - 井崗山 鬪爭의 所産
- 2) 持久戰, 民族統一戰線 戰略의 輪廓을 그림
- 3) 持久戰論 ( 1938.5 )
- 4) 統一戰線에 있어서의 獨自性 問題 ( 1938.11 )
- 5) 新民主主義論 ( 1940.1 )
- 6) 聯合政府論 ( 1945.4 )

마. 戰後의 發展

- 1) 人民解放論 가. 1943. 처음 사용 45년 약간 具體化  
나. 46년 8로군+신 4군=人民解放軍 명명

2) 核時代에도 가. 1945.8.13.毛는 美國과 蔣介石의 宣傳機  
 人民戰爭의 関은 두발의 原子彈으로 紅軍의 政治力量  
 効用性認定 抹殺을 試圖하나 결코 그럴 수는 없다.  
 原子彈으로 戰爭을 결정지을 수는 없다.

#### 4. 人民戰爭論

가. 定 義

- 林彪의 人民戰爭 勝利萬歲 (1965.9.5) 入 .

- 1) 甚大한 內容과 分野를 總網羅한 世界의 赤化戰略
- 2) 政治, 經濟, 軍事, 社會, 文化의 전반에 걸친 總力的인 戰爭論

#### 1. 內 容

- 1) 政治于先 - 政治權力은 銃口에서 나온다.
- 2) 協商과 攻擊
- 3) 煽動宣傳의 心理戰
- 4) 經濟戰 - 軍事物資 調達方法
- 5) 統一戰線
- 6) 党的 勢力擴張 위한 政治戰
- 7) 게릴라戰과 持久戰

共產化를 위한 毛思想의 強化

## 2. 留 意 点

- 1) 從來개 밀러戰은 防禦的-人民戰爭은 攻防戰으로 發展-새로운 侵略形態로 발전
- 2) 中間地帶論 開發(第1, 第2)
- 3) 新生後進國을 제1대상-여러社會 改革을 內容으로 하는 擴大하는 國民의 支持獲得이 政治安定, 都市와 農村間의 矛盾擴大

## 3. 人民戰爭의 底意

- 1) 약한 政府에 대한 脅迫
- 2) 貧困, 社會 不條理등 民衆의 不滿을 開發하는 侵略形式
- 3) 後進國에 대해선 外來侵略 如何에 重點-反帝

## 나. 人民戰爭의 特性

<p>(1) 政治的 性 格의 戰爭</p>	<p>가) 戰爭은 다른 手段에 의한 政治의 連續 나) 政治는 피를 흘리지 않는 戰爭 다) 紅軍은 政治任務를 遂行하는 武力集團 라) 戰爭은 아니라 大衆煽動, 組織, 武裝 마) 革命政權의 成立, 黨組織의 建設</p>
<p>(2) 群衆的 性 格의 戰爭</p>	<p>가) 群衆路線에 依支한 群衆을 動員, 組織, 武裝化 나) 群衆을 團結, 一體化, 可能 統一戰線 다) 敵을 最大로 孤立 打倒 誘導 라) 이農村 包圍都市-中間地帶 世界化</p>

<p>(3) 總體的 性 格의 戰爭</p>	<p>가) 組織形式에서 作戰形式까지</p> <p>1) 組織 - 正規軍, 非正規軍, 主力軍과 地方軍 軍隊와 民兵, 武裝群衆과 非武裝群衆의 結合</p> <p>2) 作戰 - 正規的인 運動戰, 障地戰, 非正規的인 遊擊戰 結合</p> <p>3) 政治鬭爭, 武裝鬭爭, 政治, 經濟, 社會, 文化, 思想宣傳의 各種 鬭爭結合 包攝</p>
<p>(4) 策略戰爭</p>	<p>가) 상대의 矛盾活用 - 落後한 裝備, 열세의 條件</p> <p>나) 戰略的防禦, 戰術的攻擊, 戰略的 持久戰 戰術的 速決戰</p> <p>다) 前進을 위한 後退 全面攻擊을 위한 後面打 擊을 하기 위한 서의 高함등 사술활용</p>

다. 人民戰爭의 戰略戰術

<p>(1) 敵強利益의 戰略戰術</p>	<p>가) 이 農村 包圍都市 農村根拠地活用 力量備蓄 작은 데에서 크게 되고</p> <p>나) 弱에서 強으로 나아가 雙方의 力量關係 變化誘導</p> <p>다) 遊擊戰으로 敵內部 矛盾을 利用하여 浸透 分裂 試圖</p> <p>라) 軍事的 打擊과 政治的 和解工作을 結合</p>
---------------------------	--

## (2) 毛沢東의 持久戰觀 - 中國革命戰爭의 特徵

- 1) 政治, 經濟的 發展이 不均衡하며... 反殖民地 狀態
- 2) 敵은 強大하다.
- 3) 紅軍은 弱少하다.
- 4) 첫째 特徵의 結果 날카로운 對照 위에서 持久戰化

- 1) 強한 敵과 一挙에 對決하면 紅軍 敗北自明
- 2) 敵과의 作戰을 피하면서 戰爭 持續
- 3) 遊擊戰에 依支하여 敵의 弱화 遊導

## (3) 遊擊戰

- 1) 無에서 有로 가는 基本手段
- 2) 게릴라戰은 宇宙的 합정
- 3) 약에서 강으로 變化는 群衆動員에 依支하여야 함
- 4) 群衆包摂은 政治 改種이고 이를 위해 時間이 요
- 5) 時間 벌기위해 空間을 活用
- 6) 時間은 持久戰, 空間은 遊擊戰 政治공작은 群衆의 依支

## 4. 代替理論으로 發展

- 1) 銃은 宣傳으로
- 2) 空軍力은 浸透로
- 3) 機械는 人間으로
- 4) 機械化는 空間으로
- 5) 産業動員은 政治動員으로

5. 毛沢東의 抗日戰觀

<p>가. 日 本</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 日本은 強해서 速決戰이 不可</li> <li>○ 日本의 侵略戰爭은 退步的이고 野蠻的으로 敗北自明</li> <li>○ 日本은 自然(國土, 資源, 人口)의 條件이 弱해 持久戰 困難</li> <li>○ 國際的 支援은 亞細亞國家 共同 打倒</li> </ul>
<p>나. 中 國</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 反植民, 反封建 狀態로 速戰 不可</li> <li>○ 抗日戰의 正当性은 拳國的 團結 可能</li> <li>○ 中國은 大國(人, 物資, 資源)으로 長期戰 지탱 可</li> <li>○ 戰爭의 正当性으로 國際的 支持獲得可</li> </ul>
<p>그러므로</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 日本은 退步時代에 있고 中國은 進步時代에 있음으로 時間的 重要性 強調</li> <li>2) 中國처럼 크고 약한 나라가 強하고 적은 나라의 侵略을 받으므로 큰 地域을 占領하므로써 共產活用可</li> <li>3) 따라서 正規戰에 遊擊戰 老대한 大衆을 活用한 大規模戰爭 遂行可</li> </ol>	
<p>* 中國革命 戰爭의 戰略問題:</p>	

## 2. 人民戰爭의 軍事戰略

### 가. 抗日戰時의 遊擊戰爭의 主要 方針

- 1) 防禦戰中の 進攻戰, 持久戰中の 速決戰, 內線作戰中の 外線作戰을 融通性和 機動性 있게 計劃的으로 遂行
- 2) 戰略戰術上的 遊擊戰 正規戰이 呼應하여 遂行
- 3) 遊擊戰에 可能的 根拠地 確保
  - (가) 地域的 優先順位 - 山岳, 河川, 港灣, 平原
  - (나) 全國을 遊擊根拠地와 遊擊陣地로, 区分 地域的 擴大性 주장
- 4) 戰略的 防禦와 戰術的 進攻戰術
- 5) 遊擊戰을 正規化하여 運動戰으로 發展
- 6) 戰略的으로 集中的 指揮 戰術上으로 分散的 指揮

### 나. 持久戰의 3 段階에 따른 遊擊戰의 活用

段階	狀況	戰略	備考
1 段階	가) 敵의 戰略的 進攻 나) 我의 戰略的 防禦	1) 運動戰 - 主力 遊擊戰, 陣地戰	
2 段階	가) 敵의 戰略的 守勢 나) 我의 反共準備	1) 遊擊戰 - 主力 2) 運動戰 - 陣地戰	運動戰 - 殲滅戰 遊擊戰 - 殲滅, 消耗
3 段階	가) 我方의 戰略的 反共 나) 敵의 戰略的 退却	1) 運動戰 - 主力 遊擊戰 陣地戰 - 重要性 增大	陣地戰 - 적소모

### 3. 人民戰爭의 政治戰略

#### 가. 共産党的 3대 基本要素

- 1) 黨建設
  - 2) 統一戰線
  - \* 武裝鬪爭 - 軍事戰略
- 政治戰略

#### 나. 毛의 統一戰線觀

- 1) 1938 : 階級鬪爭은 오늘의 抗日民族鬪爭에 帰屬됨 - 統一戰線
- 2) 1941 : 統一戰線은 階級鬪爭이며 分離될 수 없음
- 3) 1947 : 新民主主義 革命勝利는 統一戰線 없이는 안됨
- 4) 1949 : 人民民主主義 戰爭 - 勞農 大衆의 統一戰線 以後

#### 다. 統一戰線과 毛의 戰略方針

- 1) 新民主主義論 ( 1940.1 )
- 2) 聯合政府論 ( 1945.4 )
- 3) 人民民主主義 戰爭 ( 1949.6 )

大衆路線이야말로 党的 基本的인 組織路線이어야 함

### 4. 林 彪

- 1) 人民戰爭의 戰略戰術은 広範한 人民大衆에 根拠함으로서 実行可能 ( 1965.9 )



- 2) 統一戰線의 内部活動은 聯合도 하지만 鬭爭도 함
- 3) 繼續적인 矛盾을 利用, 多數를 獲得하고 少數에 反對하며 擊破한다는 策略的 戰術

## 5. 世界戰略의 核戰爭觀

### 가. 毛의 世界戰略

- 1) 以農村 包圍都市
- 2) 第3世界를 世界의 農村 서구 美國을 都市
- 3) 美國을 最終目標로 3A의 統一戰線
- 4) 여러 地域의 人民戰爭으로 美國의 힘을 弱화
- 5) 核武器를 가볍게 使用 不可
- 6) 戰爭의 勝利는 地上軍의 連續적인 戰爭
- 7) 精神的 原子彈이 物質的 原子彈 보다 重要

### 나. 世界戰略의 特徵

- 1) 中國 赤化戰略의 연역적인 適用
- 2) 中間地帶論의 理論化
- 3) 核武器보다 人中心의 戰略
- 4) 中間地帶를 主戰場으로 만들 것을 試圖
- 5) 第1 (世界革命의 中心地) 赤化
- 6) 第2 (赤化) 支援勢力化

短期的으로 核의 中和를 위한 戰略: 羅瑞卿

다. 中共의 核武器 觀

- 1) 초기 : 蘇聯의 核을 背景으로 台灣 解放
- 2) 1959 : 自体力量에 의한 核開發推進과 同時 革命輸出 試圖
- 3) 1966 : 武力으로 修正主義者 除去

라. 中共의 戰略

- 1) 核均衡의 變化에 敏感한 反應, 世界赤化 試圖
- 2) 韓國戰 : 毛沢東 革命의 모델화
- 3) 1957 : 스푸트니크 發射에 強硬 革命 輸出
- 4) 核武器의 見解差는 中·蘇紛爭要因 ( 1957.11 세계공당 )
- 5) 中共 : 帝國主義는 중이 호랑이이므로 蘇聯의 核을 背景으로 解放戰爭 支援
- 6) 蘇聯 : 局地戰은 核戰으로 擴大, 革命輸出 核支援 拒否

#### 4. 各軍의 編成과 裝備

##### 가) 陸 軍

###### 가. 特 徵

- 1) 省, 県, 市 單位 軍區制 採択
- 2) 地域的 特殊性에 立脚한 配置

###### 나. 構 成

- 1) 中央軍 36 - 每 軍 3 個師 + 4,500 名 補充地帶
- 2) 軍區軍은 大略 駐屯軍의 2 倍程度
- 3) 獨立師團은 10,000 명으로 구성 輕武裝

###### 다. 軍區制의 特徵

- 1) 井崗山 鬪爭記로 遡及
- 2) 소비에트식과 中共固有의 體驗에 基盤
- 3) 一括된 黨 統率로 行政, 軍事的 機能의 效率化 試圖
- 4) 戰線의 極大化에 對備한 土着的 機能 活用
- 5) 一人 獨裁體制 強化 위한 相互 牽制과 均衡誘導

###### 라. 陸軍의 編成

- |                 |                |
|-----------------|----------------|
| 1. 步兵 : 120 個師團 | 3. 砲兵 : 20 個師  |
| 2. 騎兵 : 3 個師團   | 4. 工兵 : 67 個聯隊 |

- 5. 通信兵：2 個聯隊
- 6. 辺方部隊：19 個師団, 30 個聯隊
- 7. 機甲兵：5 個師団
- 8. 空挺隊：2 個師団
- 9. 对戦車砲兵：5 個聯隊
- 10. 自動車輸送兵：34 個聯隊
- 11. 鉄道兵：11 個師団

- 1. 11 個兵科
- 2. 170 個師団, 138 獨立聯隊
- 3. 總 250 余萬軍

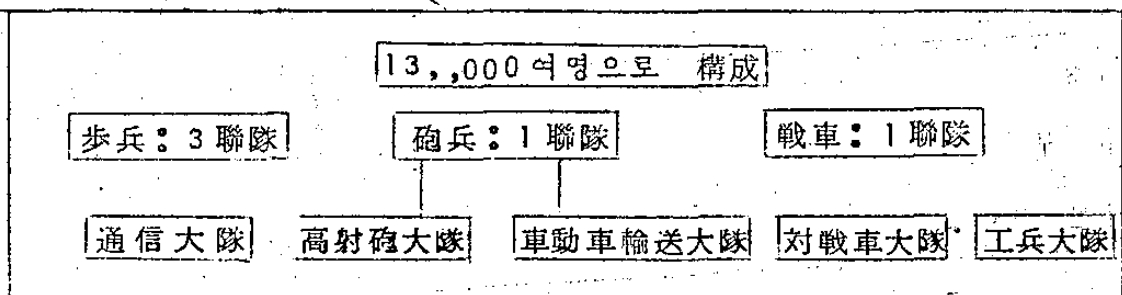
마. 陸軍의 裝備, 編成

1. 葉劍英의 發表 ( 1971.3 )

- (가) 各軍裝備, 編成은 任務와 地形 考慮
- (나) 山岳軍과 平原軍의 裝備는 달라야 한다.
- (다) 防禦為主의 軍隊編成
- (라) 老대한 領土를 考慮할때, 近代화된 部隊와 未開한 部隊 予想

2. 中共軍은 甲, 乙, 丙 3 個形式의 軍隊로 大別

가) 甲編成 師団



장 비

- 가) 76 미리 自走砲
- 나) 122 미리 誘彈砲, 122 미리 加能砲 各 12 문
- 다) 57 미리, 85 미리 大戰車砲 多量 保有

- 라) 戰車 : 32 량
- 마) 裝甲車 : 10 량

- 바) 트럭, 各種車輛 都合 600 余輛 保有

- 사) 中共軍중 가장 現代化된 師團

나) 乙編成 師團

- \* 編成 甲編成 師團과 同一
- 1) 裝 備 戰車 : 30 량, 裝甲車 10 량  
76 미리 자주포, 85 미리 對戰車砲만 保有
- 2) 輸送力 自動車 : 200 여량  
件 數 : 1,300 두로 充當

다) 兵編成 師團

- 1) 兵力 : 약 10,000 여명
- 2) 裝備 : 戰車, 裝甲車 無
- 3) 火砲 : 총화기도 稀선 적다.

分 析

1. 甲師團

- 가) 甲師團은 火力도 많고 機動力 保有
- 나) 車輛에 의한 機動力 優越
- 다) 平原地帶 作戰 優秀

2. 乙師團

- 가) 火力과 步兵, 機動力 甲에 比해 弱함
- 나) 件數를 많이 保有 山岳地域 輸送에 適合
- 다) 複雜한 地形의 作戰에 適合

3. 丙師團

- 가) 큰火砲 戰車도 없이 戰力도 약함
- 나) 山岳地帶의 遊擊作戰에 適合

評 価

- 1) 東北方面에서 蒙古, 新疆 등 中・蘇國境地域 配置軍은 甲軍
- 2) 中共 陸軍 120 個師團에서 약 70 個師團은 甲軍 編成
- 3) 계속 軍裝備 現代化 計劃 推進

### 3. 戰車部隊

- 가) 戰車師團 5個 保有
- 나) 各師團은 裝甲車聯隊2, 步兵聯隊1이 基幹
- 다) 1師團 戰車保有數 약 100輛
- 라) 蘇製 T-54型 重戰車가 主力, 36尊 100밀리포 保有

#### (1) 戰車의 生産

- 蘇聯은 T-54戰車 53.4부터 大量 生産
- 1963.T-62戰車로 T-54 代替

- 中共은 T-54戰車로 1955년부터 武装
- 1959年頃부터 T-54戰車 自國生産

#### (2) 59年産 推定根拠

- 가) 59年 10.1 國慶日에 出現
- 나) T-54를 T-59로 命名한 根拠 推理

- 가) 1966年 3月 T-59 파키스탄 陸軍記念日 퍼레이드에 出現
- 나) 파키스탄에 T-59 200량 供与

- 가) 中共의 戰車輸出은 生産能力 至大 重視
- 나) 年間 200량 이상 生産으로 1955年이래 2,000량이상 戰車生産
- 다) 最近 步兵의 裝甲化 試圖

- 라) 裝甲, 病院, 輸送車의 自國生産
- 마) 裝甲病院 輸送의 円滑化 推測

#### 4. 空挺部隊

- 가) 空挺師團: 2 個師團
- 나) 空輸用 輸送機: 軍用, 民用 都合 數百機
- 다) 大砲, 戰車運搬用 大型 輸送機 無

- 가) 空挺隊 輕裝備
- 나) 일시 輸送能力 最大 5,000 명 程度
- 다) 美·蘇 水準 到達은 遼遠

#### 5. 辺方部隊

- 가) 國境 警備軍의 優秀한 裝備 19 個師團
- 나) 新疆, 內蒙古, 黑龍江 地域에 "生産建設兵團" 組織
- 다) 辺方地域 生産建設團 兵力은 50 餘만, 全國 70 만 推算
- 라) 國境, 警備隊化 生産建設兵團은 國境守備隊

#### 6. 小結論

- 가) 中共은 在來軍事 範疇에 尙存하는 前近代的 軍隊
- 나) 1950 年代 蘇聯과의 合同軍備 現代化 計劃은 援助中斷으로 失敗



- 다) 軍備現代化의 軍防備 國產化 計劃으로 産業發展의 沈滯 招來
- 라) 軍事備의 過重負擔 抑制과 軍備資金 위한 軍隊의 生産遼遠  
化 推進
- 마) 中央軍事委員會 總參謀部 省軍區 등의 複合指導體制는 混亂  
隨伴 動機
- 바) 黨의 軍, 行政權의 効率的 統制手段은 毛沢東式 指揮의 所  
産
- 사) 1級軍區의 管割地域 老大性은 軍需 司令官의 行政權 干涉  
手段
- 아) 政治司令은 軍權의 擴大와 干涉 隨伴한 軍權政治 招來
- 자) 各種, 兵器, 火器, 武器는 自給 生産調達

나) 海 軍

가. 編 成

- 1) 東海艦隊 (가) 연운항에서 조안만까지 : 上海 주산기지  
(나) 800 쌍 保有
- 2) 南海艦隊 (가) 조안에서 越盟國境까지 : 황포, 항강기지  
(나) 400 여쌍 保有
- 3) 北海艦隊 (가) 鴨綠江 江口에서 연운항까지 : 대려, 청포基地  
(나) 280 쌍 保有
- 4) 海軍編隊 (가) 퇴장한 - 28 척 輕爆擊機 약 150 대 미그17  
(나) 防空戰鬪機 약 500 機 保有

나. 裝 備

- 1) 약 1,300 隻의 戰艦 保有
- 2) 沿岸 防備型으로 小型艦船 為主
- 3) 약 18만명의 海軍 保有
- 4) 驅逐艦 3,000 톤급 - 自給
- 5) 哨戒艇 소해정, 魚雷艇에 主力

6) 1958年 이후 自國設計에 의한 高速哨戒艇 建造

7) 最近 40 톤급 30 노트 이상의 소중의 魚雷艇 生産

다. 潛水艦

- 1) 中共 海軍力中 注目할 對象
- 2) 40 余隻으로 推算

라. 形 態

- 1) W형 : 1,300 海哩의 航速距離
- 2) R형 : W형 보다 優秀함
- 3) G형 : 미사일 發射管 3 個 保有

마. 注目事項

- 1) 형은 射程 1,000 키로 極東地域은 이 미사일 攻擊範圍에 들
- 2) 原子力 潛水艦 建造 情報 入手

바. 情報의 追跡

- 1) 中共 製造史上 最大規模의 潛水艦 建造
- 2) 原子力 推進裝置의 保有, 미사일 發射型이 아닌 攻擊用  
( 1971.6.5. 워싱턴 포스트지 )

사. 美國防省 發表

- 1) 中共의 大型原子力 潛水艦 建造 可能性 是認

아. 推 理

- 1) 1971年 부터 原子力 潛水艦 建造에 着手
- 2) 潛水艦 戰力增強과 執念의 測定

자. 評 価

- 1) 保有한 艦艇의 種類와 能力으로 보아 外洋機動作戰 不可
- 2) 最近 建造狀況은 海軍力의 擴大試圖
- 3) 民用, 軍用, 貨物船을 文革以後 大量 건조하고 있음
- 4) 技術, 資源, 資本은 海軍의 現代化의 關鍵

다) 空 軍

가. 編 成

- 戰鬪師團 18      ○ 攻擊師團      ○ 爆擊師團 5
- 輸送師團 1      ○ 獨立聯隊 4      海洋航空隊 6 個師      2 個聯隊
- 22 萬 兵力

나. 裝 備

- |                        |                                 |
|------------------------|---------------------------------|
| 1) 미그 15,17 都合 1,700 기 | 6) 輸送機 : 400 대                  |
| 2) 미그 19 약 1,000 기     | 7) 헬리콥터 : 300 대                 |
| 3) 미그 20 기 75 기        | 8) 偵察機 : 200 여대                 |
| 4) IL-28 형 輕爆擊機 300 대  | 9) F-9 : 300 대                  |
| 5) Tu-16 형 重爆擊機 100 대  | 10) Tu-4 重爆擊機 少量                |
| 이상                     | 11) SA-2, SAM 미사일 數百機 ( 50 基地 ) |

中共 空軍은 戰鬪機가 主力

다. 空軍의 配置

軍 区	總 台 數	軍 区	總 台 數
審 陽	580	福 州	330
北 京	420	武 漢	290
南 京	650	濟 南	280
広 州	480	蘭 州	120

라. 航空機 生産

- 1) 1956.6 : 審陽航空機工場에서 미그 17 型 戰鬪機 製作 成功
- 2) 1957.9 : 大量 生産
- 3) 1959. : 월 25 기 生産能力 具備
- 4) 1960. : 蘇聯援助 斷絶時까지 미그 19 기 200 기 미그 21 기 少量 導入

마. 미그 19 기

- 1) 1962 : 試驗製作 成功
- 2) 1964 : 量産 始作
- 3) 1964 年 여름 : 審陽의 미그 19 기 生産工場水準 蘇聯 追跡
- 4) 1971 年 : 年間 300-400 기 生産能力 確保

- 1) 1969 - 미그 19 기 改良型 F-9 형 戰鬪機 生産
- 2) 蘇聯의 미그 19 기의 改良型 原爆 탑재
- 3) 1969-Tu-16 重爆撃機 生産 (1970.9.18 워싱턴포스트)
- 4) 生産能力 월 4-5 機 程度
- 5) 1972 年 중 : 相當한 戰力의 Tu-16 重爆撃機 保有 (1972.2. 레어드 國防의 報告)

바. 評 価

- 1) 機種面에서 戰鬪機가 圧倒的
- 2) 中共 空軍은 防禦的 性格 堅持
- 3) 最近 性向은 攻防禦的 性格의 並行
- 4) 航空機 生産은 中共 經濟 沈滯 刺戟
- 5) 空軍裝備 現代化에 되지

## 라) 민 병

### 가. 特 徵

- 1) 民兵은 中共 特有의 武装 組織
- 2) 全 人民에 國土防衛 任務 賦加
- 3) 國家 動員体制의 能率化 試圖

### 나. 民兵 強化 報道

- 1) 美帝 侵略戰爭 擴大 防禦
  - 2) 美帝가 쳐들어와도 民兵과 正規軍의 連結
  - 3) 億萬의 人民이 遊擊戰으로 紛碎
- ( 1965.9.21. 人民日報 社說 )

### 다. 民兵의 編成

- 1) 基幹民兵
  - (가) 年令 ( 男子 : 16-30 세  
여자 : 18-25 세 )
  - (나) 資格 : 中共黨에 忠誠을 盟誓한 身體 健康한 者
  - (다) 中核 : 復元軍人, 除隊軍人
  - (라) 總數 : 약 3,000 만명으로 推算
- 2) 普通民兵
  - (가) 対象 : 남 31-45 세  
여 26-40 세
  - (나) 總數 : 약 1.7 億으로 推算

#### 라. 裝 備

- 1) 都市, 農村, 地域, 機關, 工場, 學校 등에 따라 다름
- 2) 우수리 民兵은 迫擊砲 重機關銃으로 重武裝
- 3) 福建地區 民兵은 野砲 訓練 實施
- 4) 內陸地方 民兵은 昆樺, 축창을 가짐

#### 마. 訓 練

- 1) 農閑期, 生産의 余暇活動
- 2) 射擊, 銃檢術, 手榴彈 投擲, 遊擊戰法

#### 바. 訓練科目

- 1) 政治思想 訓練
- 2) 境界連絡 訓練
- 3) 戰鬪訓練(射擊, 手榴彈 投擲, 狙擊 地雷敷設 登山水泳)
- 4) 基本訓練
- 5) 部隊訓練

#### 사. 民兵의 役割

- 1) 敵에 대한 拳國的 反擊
- 2) 正規軍의 物資, 輸送, 鐵道, 橋梁, 軍施設 警備(후방)
- 3) 予備兵力, 資源兵力(接敵地域)
- 4) 遊擊戰 展開(敵後方)

마) 核武器

- 1) 中共軍事力中 가장 注目对象 核미사일
- 2) 1958年 自力에 의한 核武装 決議後 總力
- 3) 아시아, 蘇聯, 구라파 全域의 攻擊 目標

가. 核實驗

- 1) 1次實驗  
(가) 時日 : 1964.10.16  
(나) 規模 : 20 킬로톤  
(다) 材料 : 우라늄 235  
(라) 場所 : 新疆省 노프노루

- 2) 4 회 : 1966.10.27. 쌍성자로 부터 미사일 使用으로  
약 700 킬로 톤 떨어진 로부노루 상공에 爆發
- 3) 6 회 : 1967.6.17 : 水爆實驗 成功
- 4) 9 회 : 1969.9.23. : 地下實驗

- 1) 1974年 6月까지 16차 核實驗
- 2) 1번 失敗를 周恩来 自認

나. 目 標

- 1) 大威力의 熱核爆彈 完成
- 2) 核彈頭의 輕量 小型化 試圖



다. 現 況

- 1) 大威力의 水爆彈頭는 아시아, 蘇聯, 구라파에 撞着 目標
- 2) 原爆, 輕量小型化 短射程 미사일 開發 努力
- 3) 水爆, 小型原爆 공히 實用段階에 接近

라. 미사일 開發

- 1) 1966.10 甘肅省 쌍성사에서 新疆省 로부노루까지 700  
키로 射程 成功
- 2) 그후 계속 米사일 開發
- 3) 1970. 4 와 71.3, 2 회에 걸친 人工衛星 發射에 사용한  
미사일은 中距離 彈導彈 (IRBM) 水準

- 1) 1970-71 사이 吉林省에 새로운 米사일 基地 完工
- 2) 吉林省 基地에서 500 키로 떨어진 沙漠에 向함
- 3) 現 中共은  $\frac{IRBM}{MRBM}$  水準의 米사일 完成 推定

- 1) 原水爆彈 150 발
- 2) 原子力 潛水艦 - 3 쌍 건조중
- 3) ICBM 開發中
- 4) IRBM 15-20 기
- 5) MRBM 50-60 기

마. 問題点

- 1) 目標調整 電子技術裝置 改良
- 2) 大氣圈 再突入用 內熱材料 改良

바. 美國防省 報告 (1972.2)

- 1) MRBM, IRBM 配置 予想
- 2) 1975 年 까지 蘇聯의 大部分을 公開可能
- 3) 1977 年 이전 美國 공격용 ICBM 配置 可能

- 1) 現水準에서 中共은 蘇聯, 日本, 공격용 MRBM 配置
- 2) 1967 年 中共軍內에 第2 砲兵 出現
- 3) 第2 砲兵 一部는 미사일 裝備로 實戰 可能

사. 小結論

- 1) 中共은 軍事的 도약을 위해 核武器 集中開發
- 2) 現在 世界 3 位의 核武器 保有國
- 3) 美·蘇水準의 核力保有는 아직 빠르다
- 4) 現在는 核攻擊에 대한 防禦用 미사일 開發 水準
- 5) 核武器는 蘇聯 國境地域에 重點 配置
- 6) 急進的 核開發에 資本, 技術, 資源의 限界性 절감

## 5. 中·蘇·北韓과의 軍事協力

### 가. 中·蘇關係

- 1) 1950.2. 中·蘇 友好協力 30년 條約締結 (전문 6 조)  
(가) 美國의 侵略을 牽制, 日本軍國主義 復活 牽制  
(나) 社會主義 陣營의 權力擁護 위한 聯合
- 2) 1954.10 蘇聯은 核科學技術指導에 動議했으나 1956年까지 遲延
- 3) 1956.4. 核科學 支援 約束
- 4) 1957.10. 中共의 壓力으로 흐르시초프 核武器 地对空미사일등 広範圍한 核支援 要請
- 5) 1958.1. 駐韓美軍에 戰術核武器 配置에 中共은 蘇聯에 核支援 要請 - 蘇聯合同司 設置 主張
- 6) 1959.6. 蘇聯은 中共에 核支援 一方 中斷
- 7) 1965. 中共의 核開發과 美國의 오키나와 返還問題에 蘇聯 刺戟
- 8) 1969. 國境衝突로 兩國國境 對決 惡化
- 9) 1971. 對西方 開放外交로 蘇聯 封鎖 強化

- 1) 政權成立 初 對蘇一辺 外交로 協力 強化
- 2) 韓國戰爭 參加로 蘇聯의 經濟, 軍事援助 獲得
- 3) 1956.2. 20次 公黨회의 이후 兩國關係 벌어짐

- 4) 核戰略에 대한 見解差로 中·蘇 紛爭惡化
- 5) 1961.7 小組軍事協力에 競爭, 中朝 防衛條約 締結
- 6) 1964. 中共自力에 의한 核開發
- 7) 1970. 史上 最大의 國境 對決
- 8) 對決하면서도 1973.3 億弗 交易 (타블렛기, 해리콧터)  
1974.10. 中共 對蘇 不可侵 協定 提議

#### 나. 中共 北韓 軍事協力

- 1) 1948. 봄: 平壤에 蘇聯, 中共, 北韓으로 構成된 合同軍事 司令部 設置 .
- 2) 1950.10 : 大規模 兵力으로 韓國戰에 介入
- 3) 1951.1 : 抗美 援助運動으로 5 億 원 相當의 物資援助
- 4) 1954-57 : 8 億弗의 戰災復舊 完全 撤収
- 5) 1958.10 : 中共軍 北韓에서 完全 撤収.
- 6) 1961.7 : 朝·中友好 相互援助 條約締結 (無期限)
  - (가) 蘇聯·中共·北韓의 3角關係의 軍事同盟
  - (나) 他國에 의한 侵略防禦를 위해 모든 措置를 취함 (7條)
  - (다) 第2條: "條約雙方은 어느 일방에 대한 어떠한 國家로 부터의 侵略에 대해서 이를 防止하기 위해 모든 措置를 取한다."
- 7) 1965.2. (가) 코시킨의 平壤訪問 이후 漸次 蘇聯쪽으로 기울  
(나) 北韓防衛協力에 관한 協定 (1967.3)

- 8) 1968. : 中共, 北韓 다시 好戰기미 ( 체코사태의 影響 )
- 9) 1969.10 : 中共政權 20 周年 記念日에 崔庸健 派遣
- 10) 1970.4 : 周恩來의 平壤訪問으로 피의 友誼 強調
- 11) 1970.6 : 황영승이 거느리는 軍事使節團 平壤訪問
- 12) 1971.9 : 蘇聯, 北韓 新軍事協定에 刺戟 中共의 無償軍事援助協定을 北京에서 締結

- 1) 韓國戰 介入으로 蘇聯에서 끌어내 中共偏으로 斜向
- 2) 北韓에서 中共軍의 撤收는 中·蘇軍事協力の 蹉跌에 刺戟
- 3) 조중防衛條約은 蘇聯, 北韓, 防衛條約에 刺戟
- 4) 文化革命은 中·北韓 關係 벌어진 動機
- 5) 체코事態는 中·北韓 協力 強化 契機
- 6) 國境衝突로 中·蘇紛爭 惡化는 金日成의 踰달리기 外交에 寄与
- 7) 蘇聯水準의 軍事援助는 遼遠한 要因이 金日成에게 弱點

#### 다. 評 価

- 1) 中共과 蘇聯은 北韓을 競爭的으로 包摂
- 2) 地理的 隣接性 아시아 共產主義 一人獨裁體制 歷史的 關係등은 中共, 北韓을 密着시키거나 經濟 軍事援助에 있어 蘇聯 優勢
- 3) 中蘇紛爭의 惡化는 中共에게 北韓包摂에 必須的 要因
- 4) 中蘇競爭的 北韓包摂은 金日成의 好戰性에 自給 憂慮
- 5) 中共軍의 現代化와 軍需産業의 發展은 金日成의 軍現代化에 寄与
- 6) 現在 中·北韓 密着에도 經濟 軍事的 要因은 北韓의 對蘇關係強化 予想 ( 北韓의 60年代 經濟沈滯에 緣由 )

## 6. 結 論

### 가. 当面政策

- 1) 強大國과 對等한 防衛力 保有로 外部侵略 未然 防止
- 2) 대 소국경 對峙 強化
- 3) 北韓, 越盟 등 隣接地域과 安保体制 構築
- 4) 核軍備体制 擴充 促進
- 5) 陸·海·空軍의 現代化에 注力
- 6) 地域別 特殊防衛 体制 構築

### 나. 一般事項

- 1) 資本, 技術資源 不足은 軍의 現代化 遲延 要因
- 2) 現代 戰略武器 生産에 대한 執念의 過重은 副作用 隨伴
- 3) 國防費의 過重支出은 中共經濟의 長期沈滯化
- 4) 根本的으로 軍事概念은 防禦力 確保에 汲汲
- 5) 地理的 人的要因에 依拠하고 在來展示 長期地區化
- 6) 核攻擊에 대한 1 차적 核反擊 能力保有
- 7) 600여 개소의 飛行場 施設로 空軍의 分散化 試圖

- 1) 美·蘇에 대비 核能力 劣勢 深刻
- 2) 海軍力의 劣勢는 海上封鎖 可能性 自招
- 3) 戰略空軍不備 對共防衛力 微弱
- 4) 強大國에 對備할 수 있는 軍事力 確保에는 長期要

다. 아시아에 미치는 影響

- 1) 地理的으로 隣接한 地域에 대해서는 聖域化 輸出이 可能하  
나 遠距離地域은 모델化 低調
- 2) 아시아 공당 간에 組織上의 顯著한 差異가 없음
- 3) 戰略의 모델은 中共에서 찾고 있음
- 4) 經濟發展段階가 낮고 부르조아 民主勢力에 의한 政治支配가  
不安定한 社会 그리고 民族主義 問題가 利用 可能한 地域  
에서는 中共의 모델이 利用可能 (스카라피노)
- 5) 北韓, 越盟, 베트남, 파테트·라오, 泰國의 공당 붉은 크메르  
버마의 혁기 등 크게 影響
- 6) 실론, 말레이시아, 인도네시아, 필리핀 比較的 적은 影響

라. 對亞戰略

- 1) 미사일體制 確立으로 域내 군사력의 均衡化 追求
- 2) 強大國의 해, 共通點 牽制위해 해, 空軍의 近代化 試圖
- 3) 領外 防禦線 構築으로 強大國化 摸索 (파라셀群島)
- 4) 韓半島를 為始한 東南亞 一円의 軍事力 緩衝化 試圖
  - 72.8.5 周恩來 레스틴會談에서
  - 韓半島問題는 日本軍國主義 復活抑制化 關聯된다.

마. 對韓半島 觀

( 自体安保上 要衝地 )

- 1) 海洋勢力의 大陸進出 橋頭堡
- 2) 蘇聯 勢力의 남하經濟要衝地
- 3) 韓半島 掌握은 東北亞制霸 및 海洋進出 要件 造成

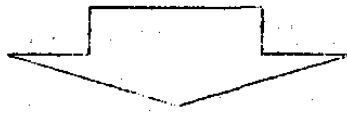
바. 對韓半島 戰略

- 1) 核兵器에 의한 軍事力을 背景으로 北韓의 對南戰略 側面 支援
  - \* 山東半島 滿洲地域에 核사일 20 여기 配置
- 2) 海軍 遠洋化로 韓國의 西南洋岸封鎖, 對韓孤立化 試圖
- 3) 核開發의 積極化로 對日壓力 加重
- 4) 蘇聯의 對韓進出 堅持 (中共, 北韓 密着)
- 5) 韓半島의 統一 空白化로 인한 日·蘇勢力의 進出을 憂慮, 美軍의 早期撤収 不遠

- 1) 蘇聯의 壓力抑制 包圍網 脫皮策 摸索
  - \* 美·日과 關係改善 摸索
- 2) 北韓의 第1 支援 勢力으로서 國際的 劣勢만회를 위한 國際 地位 提高 試圖
- 3) 韓半島의 現狀認定이 있다면 共產激化 위한 暫定的 措置
- 4) 中國革命의 經驗을 韓半島에서 實現 試圖

內  
一  
三





- 1) 中共의 開放化는 戰略武器 量產 能力 擴大
- 2) 軍의 現代化는 中共의 軍事大國化 不可避
- 3) 政治, 軍事的 大國化는 中共의 好戰性에 刺戟 憂慮
- 4) 中共의 軍事的 現代化는 隣接國인 武器支援 可能
- 5) 中共의 國防費 過重支出은 中·蘇和解 試函 可能

자. 中·蘇의 對北傀 支援	
中 共	蘇 聯
1) 毛沢東式 戰法에 따른 對南戰略 支援 可能性 尙存 2) 70年代의 方向은 勢力 均衡 에 力點 3) 暫定的으로 東北亞에 美軍駐屯 希望 가) 美軍撤收時 韓國戰 再發 憂慮 나) 日本의 再武裝 促進 다) 蘇聯의 아시아進出 刺戟 4) 金日成의 對南挑發에 대해 가) 勝利不可한 挑發은 支援치 않을 것임	1) 美·日과 協力試函 2) 中·蘇紛爭으로 北韓 包拯 試函 3) 北韓挑發에 대해 가) 對美·日關係 惡化 나) 日本의 再武裝 促進 다) 美·日 同盟 強化 라) 中共의 介入으로 中共의 影響力 增大 마) 아시아 集團安保 構想에 惡影響

中 共	蘇 聯
나) 蘇聯의 極東介入 擴大 다) 日本의 再武裝 促進 라) 北韓은 戰略的 要衝地나 對美日 協力 緊要	4) 韓半島의 現狀固定化 方案에 애매한 立場 堅持

아. 金日成의 行動半徑

- 가) 全面戰爭의 挑發은 困難하다고 思料됨
- 나) 武裝개입러 浸透로 남한의 混亂惹起 憂慮
- 다) 이것을 남한내의 反政府 蜂起로 偽裝宣傳 試圖
- 라) 成果에 따라서는 全面戰·不辭
- 마) 全面戰으로 飛化되면 中·蘇는 北韓을 支援할 것으로 看做

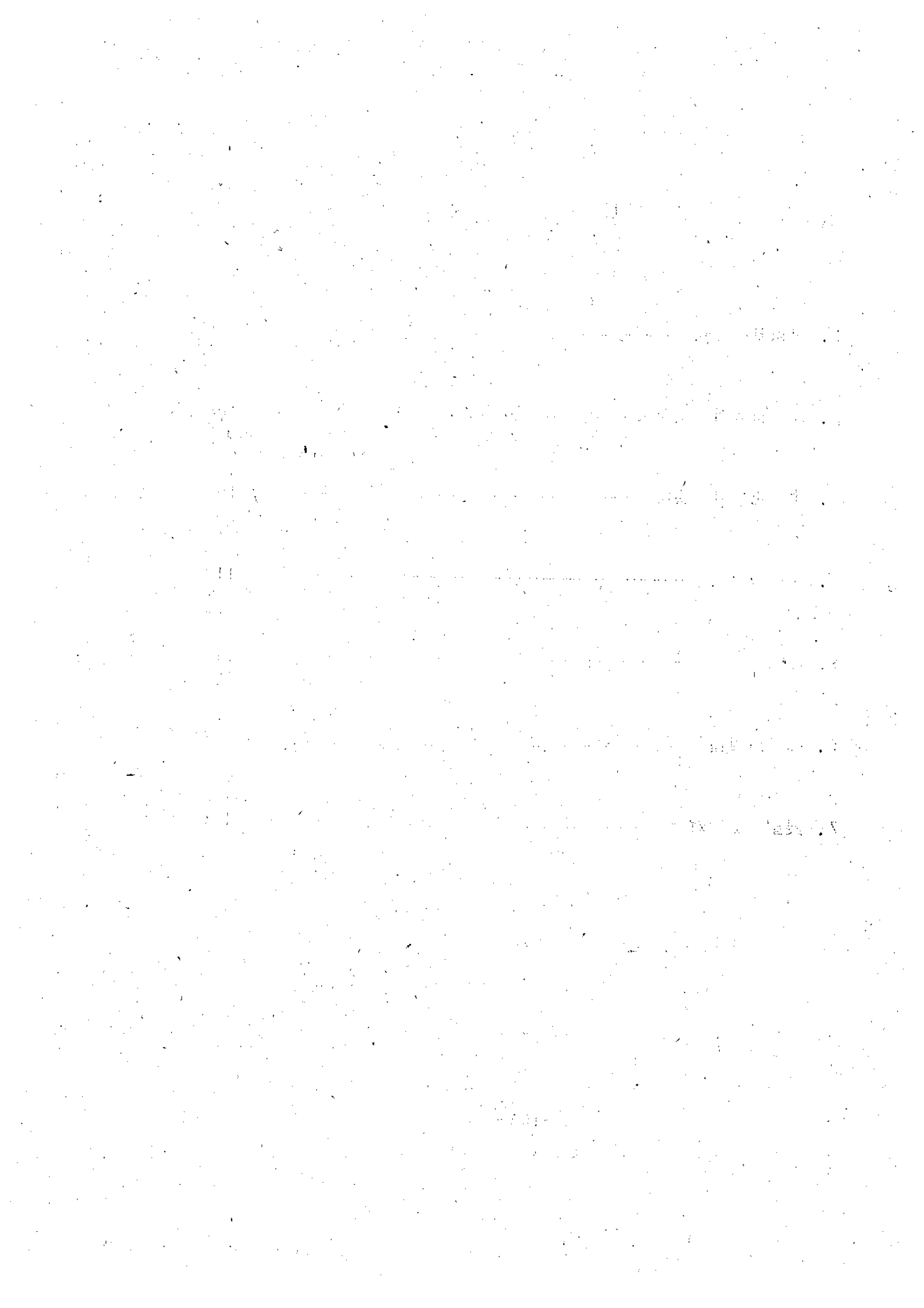


#### IV . 第 3 世界에 関한 分析

第 11 章 第 11 章 第 11 章 第 11 章 第 11 章

## 目 次

1. 問題의 提起 .....	105
2. 才3世界의 概念 .....	106
3. 才3世界의 現況 .....	108
4. 非同盟會議 .....	113
5. 리마會議 .....	120
6. 韓半島關係 .....	127
7. 展望 및 對策 .....	135



## 1. 問題의 提起

- 1) 才4次 非同盟頂上會議 ( 1973.9. 알제리아 ) : 北側에 一方的으로 有利한 韓國決議案 採択
- 2) 리마에서 열린 非同盟頂上會議 ( 1975.8 ) 南北韓同時加入申請에 北側만을 一方的으로 加入
- 3) 積極적인 中立을 宣言하던 非同盟國은 強力한 同盟路線으로 붕쳐 左傾化路線을 指向
- 4) 100 個国 以上の 유엔 會員國을 가진 才3世界 國家群은 유엔에서 數的橫暴를 恣行

- 1) 反帝, 反植民主義的 民族主義를 標榜한 非同盟國은 反資本主義的 性向, 反이스라엘 感情으로 反美路線 顯著
- 2) 蘇聯에 對해선 中立, 中共은 스스로 才3世界의 領導者로 自處
- 3) 今年 유엔總會에서 韓國問題의 向方을 予測키 힘듬
- 4) 非同盟國의 現況과 性向을 分析하여 政策決定에 參考



## 2. 第3世界的 概念

### 가. 概念

- 1) 才1世界 : 가) 西部 유럽과 北美圈 - 自由陣營  
나) 美·蘇의 超大国
- 2) 才2世界 : 가) 蘇聯 블럭 - 共產陣營  
나) 英·日·프 等 強大国軍
- 3) 才3世界 : 가) 自由陣營과 共產陣營의 中間路線  
나) 積極的 非同盟, 中立路線 指向國家  
다) 新生獨立의 아시아·아프리카·中南美國家

### 나. 特徵

- 1) 確然한 이베올로기로 뭉친 것이 아닌 共通된 利益의 追求로 團結
- 2) 同盟體制로 左右되는 國際舞臺에서 行動目標을 實現하려는 路線指向
- 3) 70年代에는 政治問題보다 貧富國家의 經濟問題에 注重

### 다. 共同路線

- 1) 積極的 中立  
가) 東西 冷戰에 嚴正中立  
나) 國際平和와 安全을 위한 中立路線 指向  
다) 機會主義 止揚의 原理保有

2) 平和共存 (반등 精神 繼承)

가) 平和共存에 의한 國際關係만이 全人類의 生存을 保障하는 길

나) 積極的 共存 : 體制에 關係없이 永久共存

다) 內政不干涉 : 共存을 他國의 內政干涉 排除

라) 民族自決主義의 尊重

3) 反帝·反植民 民族主義

가) 植民殘宰一掃, 經濟發展 促求

나) 平和共存指向의 共產戰略에 感染

다) 指導體制의 無能, 失策을 強大國에게 轉嫁企圖

1. 民族主義와 모든 國家의 平等에 基盤한 國際關係의 確立, 國際問題 處理에 대해 強大國과 對等한 參與를 促求
2. 東西冷戰의 緩和, 貧富國間의 葛藤으로 漸次 經濟的 問題에 執着

### 3. 第 3 世界의 現況

韓 國 ○  
 北 愧 ×  
 南 北 同 時 △  
 南 北 未 修 交 -

地 域	國 別	國 土 面 積 <i>km<sup>2</sup></i>	人 口 (만)	G N P	資 源	南 北 韓 修 交 關 係
亞 洲  ( 12 個 國 )	인도	3,253,090	5억6,349만	503억	농산물	△
	부탄	47,000	636만	4,770만	목재	-
	스리랑카	65,610	1,303만	16억	차·고무· 코코넛	○
	인도네시아	1,904,345	1억2,040만	108억	석유·주석등	△
	캄보디아	181,053	710만	9억8,200만	쌀·고무	×
	월남	170,906	1,881만	30억	쌀	×
	아프카니스탄	647,497	1,788만	12억	소맥·대맥	△
	버마	678,033	2,887만 44명	21억	고무·석화성	△
	네팔	14,795	1,147만	8억100만	면화·고무	△
	라오스	23,680	311만	2억6,040만	쌀·담배	△
싱가폴	518	215만	18억1,800만	공산물	△	
벙글라데쉬	14만1,100	7,500만		황마	△	
中 東	알제리아	238만1,731	1,527만	44억	천연가스· 철광	×
	리비아	1,759,540	208만	25억	석유	×
	이집트	100만1,449	3,484만	60억	면화	△
	모로코	41만50	1,583만	31억	농산물· 망강	○

地域	國別	国土面積 (km <sup>2</sup> )	人口 (만)	G N P	資 源	南北韓 修交關係
中 東 （ 18 個 國 ）	투니시아	125,180	538만	12억	소맥·과실	○
	이락	44만8,742	1,007만	29억	소맥·쌀	×
	쿠웨이트	1만7,000	91만	23억	석유	△
	레바논	1만400	296만	14억	올리브·면화	△
	남예멘	19만5,000	606만	3억7,500만	커피	×
	예멘	31만6,163	151만	1억5천	커피·대맥	×
	시리아	18만5,180	668만	14억	소맥·대맥	×
	사우디아라비아	214만9,690	796만	41억	석유·금·은	○
	요르단	9만7,740	247만	5억7,620만	인광석	△
	카타르	2만2,000	8만		석유	○
	바레인	6,401	22만		진주	-
	오만	21만2,380	70만		석유	○
	아랍토후국	8만5,500	22만			-
濠 洲	보츠와나	60만327	69만	5,800만	옥수수·담배	○
	부룬디	2만7,834	362만	1억8천만	면화	×
	카메룬	47만5,422	584만	9억3,600만	코코아·커피	△
	중앙호	622,984	164만	2억	면화·커피	○
	차드	128만4,000	380만	2억7천만	면화·쌀	△
	콩고	34만2,000	98만	2억3백만	낙화생·코코아	×
	다호메	112,622	287만	1억4백만	야자열매·야자유	△

地域	国 別	国土面積 ( <i>km</i> <sup>2</sup> )	人 口 (만)	G N P	資 源	南北韓 修交關係
亞 洲 ( 39 個 國 )	기니아	2만 8,051	29만	2,800만	커피·코코아	×
	이디오피아	1,221,900	2,593만	17억	커피·담배	○
	가봉	26만 7,667	50만	2억 5백만	석유·철광	△
	감비아	1만 1,296	40만	3,300만	낙화생	△
	가나	23만 8,537	909만	23억 2천만	다이아몬드	×
	기니아	2만 8,051	29만	2,800만	커피·바나나	×
	아이보리코스트 (코프디브와트)	322,463	453만	12억 4천만	커피·바나나	○
	캐냐	58만 2,645	1,207만	14억 3천만	커피·차	○
	베소호	3,355	97만	8,200만\$	양모·소맥	○
	라이베리아	111,369	157만	2억 54백만\$	생고무·커피	△
	말라위	11만 8,484	407만	2억 71백만\$	낙화생	○
	말라가쉬	58만 7,041	675만	7억 78백만	쌀·설탕	△
	말리	124만	526만	2억 64천만\$	설탕·수수	×
	모라타니아	103만 7百	123만	1억 72백만\$	소·양	×
	모리셔스	2,045만	83만	1억 77백만\$	사탕수수	△
	니제르	126만 7千	421만	3억 2천만\$	목축·우라늄	△
	나이지리아	92만 3,768	5,802만	54억\$	낙화생·코코아	-
	루완다	26,388	390만	1억 32만\$	면화·커피	△
	세네갈	19만 6,192	412만	7억 9천만\$	낙화생	△
시에라레요	7만 1,740	263만	3억 42만\$	야자열매	△	

地域	国 別	国土面積 (km <sup>2</sup> )	人 口 (만)	G N P	資 源	南北韓 修交關係
	소말리아	637,657	294만	1억3,200만\$	설탕·면화	×
	토고	5만6천	209만	2억500만\$	코코아·커피	×
	스와질랜드	1만7,363	43만	5,850만\$	쌀·설탕	○
	우간다	23만6,036	1,046만	10억2,400만\$	면화·커피	○
	탄자니아	94만5,087	1,400만	9억1,500만\$	커피·차	×
	어피모타	274,200	561만	2억5,500만\$	면화·가죽·어류	△
	자이레	2,345,407	2,286만	13억\$	금·동·라디움 코발트	△
	잠비아	752,614	442만	11억\$	농·담배	×
	기니비소					×
	모잠비크	783,030	7,376천		면화·코프라	×
	카프베르데	4,033	29만		면화·코프라	×
	상호메	964	7만		면화·코프라	×
南 美 ( 6 個 國 )	큐바	114,524	875만	39억\$	설탕·커피	×
	가이아나	214,969	76만3천	2억2,100\$	설탕·쌀	△
	자미아카	11,425	192만	10억6천만\$	설탕·커피	△
	알제틴	2,776,889	2,392만	267억\$	대맥·소맥	△
	페루	1,285,216	519만	39억7천만\$	바나나·금·은	○
	트리니다드	5,128	110만	7억6,400만\$	석유·설탕 코코아	-
유 럽 ( 3 個 國 )	말타	316	33만		소맥·면화	△
	유고	255,804	2,077만	99억	보키사이트	×
	키프러스	9,251	65만	4억8,200만	대맥·면화	-

## 分 析

- 1) 美·蘇 西方重鎮國을 除外한 유엔會員國중 100 個國 以上을 이루는 新生弱少 國家群
- 2) 아프리카, 新生國이 主導하는 아시아·아프리카·中南美 諸國의 共同路綫 追求 國家群
- 3) 유엔 및 國際機構에서 數的過多로 橫暴하는 國家群
- 4) 親共產·親南方·中立路綫 指向國들 多様하고 複雜한 構成
- 5) 反帝, 反植民 民族主義 反資本主義路綫 指向으로 反美傾向 濃厚
- 6) 資源과 農産物에 依存하며, 工業水準과 生産水準은 뒤떨어진 開發途上 國家  
( 才 3 世界는 石油外에도 구리, 텡스텐, 철광석, 보오크사이트, 인광석, 수은, 우라늄 등 豊富한 天然資源 保有 )
- 7) 東西冷戰의 緩和로 政治問題보다 貧富國間의 強制的 問題에 集中하는 國家群
- 8) 親共產, 親西方, 中立路綫指向 등 多様하고 複雜한 構成
- 9) 經濟力의 隔差深大, 利害關係의 多様化로 才 3 世界 結束 漸次 退潮

## 4. 非同盟會議

### 가. 主要 才 3 世界 機構

#### 1) 政府間 會議

- 가) 亞·阿會議 (반동會議)
- 나) 非同盟諸國 國家元帥, 政府首腦會議 (非同盟會議)
- 다) 中立諸國 經濟會議
- 라) 아프리카 獨立諸國會議
- 마) 아랍諸國 首腦會議

#### 2) 政府間 機構

- 가) 아랍聯盟
  - 나) 아랍 共同 防衛條約機構
  - 다) 아프리카 統一機構 (OAU)
  - 라) 브라자빌 그룹
  - 마) 카사브랑카 그룹
  - 바) 몬로비아 그룹
  - 사) 아프리카, 말라카시 共同機構
  - 아) 아프리카 諸國聯合
  - 자) 協商會議
  - 차) 라틴아메리카 自由貿易聯合
- #### 3) 民間機構
- 가) 아시아 諸國民會議



- 나) 亞·阿人民連帶機構
- 다) 亞·阿經濟協力機構
- 라) 亞·阿夫人會議
- 마) 3月 人民連帶會議
- 바) 라틴아메리카 人民連帶機構

나. 반동會議

1) 第1次會議 ( 1955.4.18-24 )

- 가) 場 所 : 인도네시아 반둥
- 나) 參加國 : 29 個國 ( 아시아 15, 中東 11, 아프리카 3 )
- 다) 成 果 : 반둥 10원칙 採択, 周恩來의 平和5原則 奏効
- 라) 影 響
  - 1) 닛셀로 하여금 반동精神이 아랍圈에 影響
  - 2) 인도네시아, 스리랑카, 캄보디아가 中立主義 標榜
  - 3) 美·蘇 兩國이 亞·阿를 重要視한 契機

2) 第2次會議의 挫折

- 가) 1964.4. 자카스타에서 22 個國이 參席한 가운데 第2回 亞·阿會議 準備會議開催 : 65.9.10. 알제리아에서 開催키로 合議
- 나) 1965.6. 알제리아에서 反 벤베라 쿠데타 發生 인도의 파키스탄 침범 인도네시아 쿠데타로 挫折

## 다. 非同盟頂上會談

### 1. 非同盟頂上會談開催 経緯

- 가) 新生國 首班들은 반동(1955.4)에 모여 國際政治에서 独自の 影響確保를 主目的으로 才3 勢力圈 形成
- 나) 周恩來의 平和5原則에 基盤하여 반동 10原則을 採択, 新生國의 指向 座標 마련
- 다) 才15次 유엔總會(1960.10)에서 非同盟首腦들은 國際 緊張緩和에 관한 決議案을 美·蘇에 要求함으로서 成立
- 라) 티토의 아프리카 8個國 巡訪(1961.2-4)時 닷셀과 世界平和 強化, 民族獨立, 經濟, 社會, 文化協力에 관한 非同盟諸國의 協議會議 開催 合意(반동精神 繼承)
- 마) 티토, 닷셀, 스카르노 등을 主軸으로 非同盟圈 發足

### 2. 非同盟會議의 性格

- 가) 非同盟, 中立, 自立外交政策을 追求하는 나라
- 나) 植民地 解放을 積極 支援하는 나라
- 다) 美·蘇等 強大國을 主軸으로 軍事同盟을 締結하지 않는 나라
- 라) 外國軍 基地를 提供하지 않는 나라

### 3. 會談經緯

#### 가) 第1次會談

1. 日 時 : 1961 .
2. 場 所 : 유고의 베오그라드
3. 參 加 國 : 28 個國
4. 決議事項 : 平和共存, 反帝反植民主義戰爭의 危險과 平和呼訴

#### 나) 第2次會談

1. 日 時 : 1964.10
2. 場 所 : 이집트의 카이로
3. 參 加 國 : 47 個國
4. 決議事項 : 南北問題, 유엔開發會議를 통한 後進國의 開發을 促求

#### 다) 第3次會談

1. 日 時 : 1970.9
2. 場 所 : 잠비아의 루사카
3. 參 加 國 : 63 個國
4. 決議事項 : ① 平和, 自由, 開發, 協力, 國際關係의 民主化에 關係 鬪爭決議  
② 非同盟과 經濟開發에 關係 經濟的 自主性의 強化를 宣言

- ③ 当面한 國際問題에 관한 14個 決議案 採択  
 (經濟的 不均等 除去運動을 同等鬭爭 目標로 採択)

마) 才4次會談

1. 日 時 : 1973.9.

2. 場 所 : 알제리아의 알지에

3. 參加國 : 85 個國 (會員國 76 個國 옵서버 9 個國)

아시아 11 個國

歐洲洲 2 個國

中南美 6 個國

中 東 15 個國

아프리카 26 個國

4. 決議事項 : 政治宣言 9, 經濟宣言 9, 韓國關係 決議

5. 韓國案 決議

(가) 韓國에 駐屯하는 모든 外國軍隊의 撤収와 外勢干涉의 停止 促求

(나) 才28次 유엔總회에서 유엔軍과 언커크 解体를 要求

(다) 韓國의 유엔加入도 統一後나 聯邦制 樹立後

4. 分析 및 評價

- 1) 非同盟會議는 結成初期 네루, 티토, 수카르노, 닛센 등의 指導者에 의해 超大國에 對抗 才3世界圈으로 機能 發展

- 2) 美·蘇의 部分 核実験禁止 ( 63 ) SALT 協定 ( 69 ) 등 디  
데탕트무드로 하여금 非同盟勢力的 國際政治的 이미지 退潮
- 3) 非同盟圈의 反帝·反植民闘争에 대해 急進 繼健化 對立
- 4) 인도의 親蘇路線 北越의 加入 등으로 非同盟圈 内部는 多  
樣化 複雜化됨

- 1) 冷戰의 解氷은 非同盟圈의 嚴正中立을 褪色케 함.
- 2) 데탕트무드의 高潮로 漸次 經濟的問題에 執着
- 3) 貧富國間의 南北戰爭에선 非同盟圈이 当事者가 되어 同盟  
의 性格이 高潮됨
- 4) 才 4 次 非同盟會議는 國際經濟秩序의 새로운 改編을 要求
- 5) 才 6 次 유엔特別總會 ( 74.4 ) 經濟關係 決議文 採択
- 6) 데탕트와 함께 政治的 目標을 民主的 國際秩序樹立으로  
轉換

- 1) 初期非同盟은 아시아國家가 主導 現在는 아프리카 國家가  
主導하는 印象
- 2) 非同盟 그룹의 同盟不加入의 基本原則은 印·파 戰爭 ( 71 年 )  
印·蘇同盟으로 변질
- 3) 最近에는 多變的 集團同盟의 加入, 強大國의 軍隊 駐屯을  
非同盟原則에 어긋나는 것으로 看做

- 1) 初期 非同盟은 反美的이 었으나, 美国의 对非同盟 態度 改善  
南美國家들의 加入, 非同盟會員의 增大
- 2) 才 4 次會議에선 처음으로 反美聲明이 있었음.
- 3) 資本主義進行에 대한 反對者는 側面에서 非同盟圈을 中·蘇  
와 共同步調를 취함.



冷戰時代는 同盟을 拒否하고 政治的인問題에 置重하였으나  
데탕트時代에는 스스로 同盟性向을 追求하고 經濟問題에  
執着

## 5. 리마會議 (非同盟 外相會議)

### 1. 概 況

#### 가. 一般事項

1. 非同盟國 調整委員會 ( 17 個國 ) : 75.8.23 ~ 24
2. 非同盟國 外相會議 : 75.8.25 ~ 29
3. 場所 : " 페루 " 의 首都 " 리마 "
4. 會議參加國數 : 總 82 個國 ( 아주 13, 中東 18, 아프리카 39, 南美 6 個國 )

#### 나. 重要議題

1. 國際經濟問題
2. 非同盟國間의 相互支援問題
3. 유엔特別總會 對策 및 才 5 次 非同盟頂上會議 準備
4. 外相會議에서의 未解決問題는 才 5 次 頂上會談 ( 76年 " 스리랑카 " 에서 開催予定 ) 에서 解決

다. 主要決定事項

1. 8.30 "리마" 非同盟會議는 主要國際政治 및 經濟問題에 관한 다음과 같은 宣言文을 採択하고 閉幕

区 分	内 容
經濟問題	가. 60 億弗 規模의 團結, 開發基金 設置原則 合意 나. 多國的企業 및 外國資本을 規制할 수 있는 基本法制定의 必要性 強調
中 東	가. 이스라엘은 "아랍" 占領地로부터 撤収 나. 유엔安保理는 "이스라엘" 에 대해 強制性있는 制裁를 考慮해야 함.
"키프러스"	가. 全外國軍의 無조건 即刻 撤収 나. "터키" 의 聯邦制案 非難
中 南 美	가. "파나마" 運河에 關聯한 "파나마" 의 鬭爭 支持 나. "관타나오" 美軍基地를 "쿠바" 에 返還 다. "파나마" 및 "쿠에로이코" 駐屯 美軍基地 移動 라. "포크랜드" 도에 대한 "아르헨티나" 主張 支持



区 分	内 容
東 南 亞	가. 外國의 軍事基地 및 軍隊 撤収 나. 外國의 軍事解体 다. 유엔總회는 安保理에 南北越南의 유엔 加入 申請提高토록 要求해야 함.
韓半島問題	가. 北塊의 平和統一政策支持 나. 유엔 旗幟下의 駐韓外軍 撤収 다. 現 休戰協定을 平和協定으로 代替 라. 7.4 共同聲明에 의한 民族 再統一 3代原則 遵守 希望 마. 北塊의 同會員國加入 歡迎

## 2. 分 析

### 가. 會議案

- (1) 非同盟國調整委 : 韓國의 加入申請에 대한 外相會議에 대한 上程與否 決定
- (2) 非同盟國 外相會議 : 가) 新規加入申請에 대한 審議  
 나) 76年 "스리랑카" 頂上會談에 提出될 議案 採択

#### 나. 韓國의 리마會議 接近姿勢

- (1) 南北韓同時加入
- (2) 南北韓의 同時脫落
- (3) 南北韓 同時 \* 傘서버 \* 資格獲得
- (4) 加入問題의 討議 延期

× 北傀 單獨加入을 막으려는 이 作戰을 俗稱 \* 물귀신 作戰 \* 이라고 表現

#### 다. 韓國의 리마會議 接近 및 經過

- (1) 75年 8月 非同盟會議에 加入申請
- (2) 北傀는 74年 3月 \* 쿠바 \* 에서 열린 執行委員會 ( 17 個 國으로 構成 ) 에 加入申請
- (3) 지난 3月 쿠바 , 하바나에서 決定된 \* 만장일치 \* 制로 本會議에 上程
- (4) 調整委에서 韓國加入案이 抬頭되자 알제리 , 쿠바 등은 議題上程조차 막기 위해 積極 反對
- (5) 말레이지아 , 세네갈 , 쿠웨이트 등은 本會議에서 決定하자고 提案
- (6) 調整委는 北傀 加入案은 \* 만장일치 \* 韓國加入案은 \* 全體의 單一意見이 이루어지지 않았다 \* 는 점을 本會議에서 報告키로 하고 本會議로 넘김

- (7) 全体 予備會議에서 南·北韓 加入問題 拳論
- (8) 共產 越南 外相은 強硬發言으로 韓國加入案 積極 反對
- (9) 韓國加入案은 封鎖당하고 北傀加入案 ( 6 個國 反對 ) 通過

### 3. 韓國의 敗因

#### 가. 客觀的 側面

- (1) 非同盟會議의 反美的, 左傾的 性格
- (2) 傳統的 北傀支持國이 32 個國인데 비해 韓國支持國은 12 個國으로 劣勢
- (3) 韓國의 駐韓美軍 維持와 對美 紐帶關係로 인한 非同盟 諸國의 對韓國 印象 惡化
- (4) 알제리아, 쿠바 등 強力한 反對와 함께 " 컨센서스 " 制度 採択도 不利
- (5) 유엔 安保理에서 韓國 유엔加入勸告 決議案이 否決된 反作用으로 美國의 南北越南加入 拒否權行事에도 反撥 可能性 內包

#### 나. 主觀的 側面

- (1) 北傀는 ' 알제리 ' 頂上會談 ( 73.9 ) 時부터 非同盟會議와 密着, 지난 75.3 ' 하바나 ' 調整委에서 北傀의 加入申請이 正式 採択되자

- (가) 뒤늦게 이에 대한 事後對策 講究로 時期的으로 늦음
- (나) 北傀의 非同盟外交活動에 대한 세미한 把握 未洽
- (2) 北傀 支持國을 凌駕할만한 우리의 積極 支持國 糾合에 失敗
- (3) 종래 非同盟國外交의 輕視로 非同盟國에 파고 들어가는 努力 未洽
- (4) 外務部當局의 計算錯誤
- (5) 非同盟會議에 臨하는 韓國外交의 戰略戰術 허술
- (6) 韓國의 非同盟會議 加入申請이 北傀보다 時期的으로 늦음

#### 4. 評 価

##### 가. 宣言文의 特徵

- (1) 國際政治問題에 있어서는
  - (가) 反帝, 反植民 口號가 여전히 크게 浮刻됨
  - (나) 強大國(美國)과의 實質的인 極한 鬭爭만은 回避하겠  
다는 意思가 內包되어 있음.
- (2) 經濟問題에 있어서는
  - (가) 유엔 經濟特別總會(9.1 開催)에서 1次產品, 生産國의 權益保護問題 등에서 行動統一
  - (나) 先進國責任에 대한 非難攻勢에 依存하기 보다는 合理

的이고 實質的인 次元에서 解決의 실마리를 찾으려는  
노력이 크게 浮刻

나. 韓國問題에 關한 事項

(1) 8.28 政治委 實務會議가 建議한

(가) 北傀의 自主的 平和統一

(나) 유엔旗幟下의 全 外軍 撤収

(다) 現 休戰協定을 平和協定으로 代替

(라) 7.4 共同声明의 3 大原則 遵守 등이 採択된 以外에도  
北傀의 正會員加入이 事實이 追加된데 반해

(2) 인도네시아, 말레이시아, 사우디아라비아 등의 韓國問題  
決議案留保 發言을 했으나 記錄에만 남았을 뿐임.

(3) 이로서 北傀는

(가) 当初 目的하였던 正會員國加入과 北傀側 決議案을 모두  
通過시켰고

(나) 相互協調 및 團結을 위한 리마計劃을 十分活用, 동회의  
82 個加盟國 全體의 團結된 對北傀支持劃策 予想

(다) 이를 유엔에서 韓半島問題 討議時 충분히 活用하여 企  
圖할 것임.

## 6. 韓半島 關係

### 가. 南北韓의 對非同盟關係

日 字	北 傀	韓 國
55.4	" 반동 " 會議 ( 55.4 ) 10 原則支持 表明	
73.5.15	才 4 次 頂上會談開催  위한 才 1 次 外相會議 準備會議 ( 가봉 ) 에 서 " 쿠바 " 代表 가 北傀의 正會員國加入 支持發言	
73.9	才 4 次 " 알지에 " 頂上會談 에 서 北傀支持 決議案 採 択 ( 알제리아 ) 主宰 北傀 大使 本會議 參觀	
73.12.15		親 " 아랍 " 政策 發表
74.6.1	金日成 北傀駐在 " 말라가쉬 " 新 任大使 接見 時 " 北傀 " 가 才 3 世界의 一員임을 最初로 自招	

日 字	北 傀	韓 国
75.1.3~ 2.3		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 다카르 • 原資材會議參席 試函</li> </ul>
75.2.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 다카르 • 原資材會議의 正 會員으로 加入</li> </ul>	
75.3.17	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 하바나 • 外相級 調整委 北傀의 正會員國加入勸告 決議案 採択</li> </ul>	
75.5.5-6	<ul style="list-style-type: none"> <li>金日成 才 3 世界와의 紐帶 強化 爲해 • 알제리아 • ( 5.26-29 ) , • 모리타니아 • ( 5.30-6.1 ) 및 • 유고 • ( 6.5-9 ) 訪問</li> </ul>	
75. 6. 2		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 뉴욕 • 調整委에 正會 員國加入申請</li> </ul>
75. 6.27		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 뉴욕 • 大使級 調整委 韓國의 正會員國加入申請 을 • 리마 • 會議로 廻付</li> </ul>
75.8.23		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 리마 • 大使級 調整委 韓國加入申請을 外相級 調整委 廻付</li> </ul>

日 字	北 傀	韓 国
75.8.24		<ul style="list-style-type: none"> <li>리마 外相級 調整委</li> <li>韓國加入 申請을 全体 會員國들의 非公式 予備會議로 廻付</li> </ul>
75.8.16	<ul style="list-style-type: none"> <li>리마 非同盟外相會議에서 正會員國으로 加入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>非公式 全体 外相會議에서 韓國加入案 否決</li> </ul>

非同盟國의 南北韓 修交現況

現況 地域	韓國单独修交	北韓单独修交	南北競合國家	雙方未修交
아주		캄보디아, 월남	(스리랑카) 인도, 인도네시아 아프카니스탄, 버마, 미얀마, 라오스, 싱가폴, 방글라데쉬	부란
중동	모로코, 튀니시아 사우디아라비아, 카타르, 오만	알제리아, 리비아 이라크, 남예멘, 예멘, 시리아	이집트, 쿠웨이트 레바논, 요르단	바레인 아랍토후국



現況 地域	韓国单独修交	北韓单独修交	南北競合国家	双方 未修交
하주	보츠와나 중공야 이디오피아 아이보리코스트 캐나, 해소로 말라위, 스와질 랜드	부룬디, 콩고 적도기니아, 가나, 기니아 말리, 모리타니 아, 소말리아, 토고, 탄자니아 잠비아, 기니비 소, 모잠비크 카프베르데 상포메	까메룬, 차드 다호메, 가봉 감비아, 라이베 리아, 말라가쉬 모리셔스, 니제 르, 루완다, 세네 갈, 시에라레온 우간다, 어피볼 타, 자이레	냐이제리 아
남미	페루	큐바	가이아나 자마이카 알젠티	크리니 다드
유럽		유고	발타	키프러스
계	15 개국	25 개국	31 개국	6 개국

15 個국의 韓國单独修交 25 個국의 北韓单独修交 31 個국의 南北  
競合 6 個국의 双方 未修交国 等 도합 77 個국임.

### 1. 北韓의 修交擴大 背景

- 가. 國際적인 分断国 承認趨勢, 國家利益爲主의 實利外交強化 趨勢
- 나. 中共의 國際政治 影響力 增大에 따른 結果
- 다. 才3 世界 國家들의 中立主義追求 積極化

### 2. 北韓修交過程上的 特徵

- 가. 北韓修交国 大部分이 韓國이 전절 한 國家이며, 中共의 影響力이 強한 나라
- 나. 從來 韓國兼任国 浸透에서 最近에는 韓國常駐地域까지 積極적인 浸透
- 다. 修交接近方式이 文化, 貿易代表部 → 總領士 → 大使關係에서 最近에는 直接 大使關係 設定

3. 修交現況 : 77 個국중 韓國修交 15, 北韓 25, 競合 31 個국  
未修交 6 個국

### 1. 南北韓 外交的 競合國家는 아프리카, 아시아, 아메리카順

- 가. 大使級關係는 아프리카地域 中立国 中心
- 나. 總領士關係는 아시아의 中共隣接国
- 다. 通商代表部는 中東地域에 集中

2. 南北韓의 外交的 競爭은 보다 熾烈할 것으로 予想됨

才 29 次 유엔總會와 韓國問題 決議案

	我側案 我資 共産案 反對	我側案 我資 共産案 權	共産案 共贊 我側案 反對	共産案 共贊 我側案 權	兩案棄權	欠席 및 未加入
아 주  (11개국)	캄보디아				인도, 부탄 스리랑카 인도네시아 아프카니 스탄, 버마 내팔, 싱 가폴, 땡 글라데쉬	라오스 (결석)
중 동  (17개국)	사우디아 라비아  오만	모로코 튀니시아  요르단  카다르	알제리아 리비아  이집트  이라크  쿠웨이트  남예멘  예멘  시리아		레바논  바레인  아랍토후국	
아 프 리 카	중앙아  차드  가봉	모리셔스	보츠와나  부룬디  몽고	가나  니제르  나이지리아	카메룬  이더오피아  케냐	모잠비크  카프베 르데

	我側案 贊成案 反對	我側案 贊成案 棄權	共產案 贊成案 我側 反對	共產案 贊成案 我側 棄權	兩案棄權	欠席 및 未加入
아 프 리 카  (39개국)	아이보리 코스트 레소토  라이베리아  스와질랜드		다호메 적도기니아 기니아 말라가쉬 말리 모리타니아 루완다 세네갈 소말리아 토고 우간다 탄자니아 어피볼타 잠비아 기니비소	시에라레온	말아위, 자이레	싱토메 (미가입)
남미  (6개국)			큐바	가이아나 자마이카	알젠티 페루 트리니다드	
유럽  (3개국)			말타, 유고		키프러스	
총계	11개국	5개국	29개국	6개국	21개국	4개국

分 析

1. 西方側案은 61:42:32 로 可決, 共產側案은 48:48:38 로 否決되었음.
2. 非同盟圈中 西方案에 贊成한 國家는 26 個國이고, 共產側案에 贊成한 國家는 35 個國
3. 西方側案이 勝利한 理由
  - 가. UNC 가 解体되는 休戰協定の 代替問題를 前提로 한 合理性과 彈力性으로 妥當性을 가짐.
  - 나. 共產側案의 駐韓 유엔軍 撤収 主張은 妥協의 余地가 없는 非現實的 主張
  - 다. 國際大勢가 韓半島의 大幅的인 現狀變更을 不願하고, 韓半島의 現狀固定化 希望
4. 今後 유엔外交는 美·日 등 友邦과의 紐帶를 強化하고, 美·日의 對 中·蘇說得을 종용하고, 우리의 對 中·蘇 接近을 통한 柔軟性있고 機動性있는 外交展開

## 7. 展望 및 對策

### 一般事項

1. 유엔會員국의 2/3 以上을 占하여 多數票 原則에서 才3世  
界的 威力은 圧倒的
2. 最近 國際會議는 才3世界圈의 先進國에 對한 聲討場化
3. 中共은 霸權爭奪方案으로 才3世界 領導國으로 目處
4. 美國은 開發途上國에 對한 大規模 援助計劃으로 改善 希望

### 先進國과 對決問題

1. 駐韓 유엔軍 解体問題
2. 유엔에서 이스라엘 追放問題
3. 유엔에서 남아프리카 共和國 追放問題
4. 先進國에 對해 諸國主義 反對 新植民主義 反對로 抗拒
5. 先進國의 工業技術, 生産力, 組織力에 對抗하는 무기로 資源  
과 輸出 活用

### 內紛 氣運高潮

1. 이스라엘의 유엔 追放問題 ( 75.9 )  
가. 北아메리카 國家들은 즉시 追放主張  
나. 검은 아프리카 國家들은 이에 反對

2. 리마會議의 演說 ( 75.8 )

가. 페루 大統領은 豊富한 資源을 가진 國家가 貧寒한 同族國  
에 대해 支援을 가짐.

內紛 氣運高潮

1. 이스라엘의 유엔 追放問題 ( 75.9 )

가. 北아프리카 國家들은 즉시 追放 主張

나. 검은 아프리카 國家들은 이에 反對

2. 리마會議의 演說 ( 75.8 )

가. 페루 大統領은 豊富한 資源을 가진 國家가 貧寒한 同族國  
에 대해 支援을 꺼림

나. 아랍 產油國들은 이에 冷笑, 블랙아프리카는 欲乎

3. 아세안會議 ( 75.9 )

가. 對中共政策을 둘러싸고 各國의 意見 不一致로 交錯

4. 石油產油國의 ( OPEC ) 內紛

가. 黒字國 : 사우디아라비아, 쿠웨이트

나. 赤字國 : 인도네시아, 말레이시아

다. 이들 사이엔 石油값 引上問題와 啓導國 援助問題로 反復